

金光学園

# やっなみ

2015. 7







# 高校入学式



# 中学入学式





# 中学ゆずり葉の会

平成26年度の「中学ゆずり葉の会」は、例年通り中3から中1・中2への生徒会活動の引き継ぎの場として、義務教育修了式後に、ほつま体育館で行われました。

1年生は、ハンドクラブやダンス、元気な歌声と呼びかけで3年生への感謝の思いを伝えました。

次に、2年生は、3年生との思い出を振り返る演出と寸劇で、思わず笑いや拍手の起こる場面もありました。最後は「キセキ」を歌い、これから旅立つ3年生への深い感謝を伝えました。

3年生は、中学最後の行事です。準備期間は短かったものの、3年間の自治活動の総まとめとして、実行委員が中心になって企画・練習を行い、一致団結して取り組みました。学年末考査後、教室で始まった放課後の練習やほつま体育館での全体練習は、全て実行委員主体で行われ、一人一人の熱気が伝わってきました。

出し物のテーマは「翔」。学年通信のタイトルであるこの言葉どおり、高校ではそれぞれの夢に向かって「翔はた」いていくという決意を表現しました。また、どの出し物においても、学年が一丸となっている姿を後輩や保護者に見てもらいたい、という気持ちで取り組みました。

学年全員が3つのグループに分かれ、短期間で猛特訓したダンスを軸に出し物を構成。まずは「恋愛レポリューション<sup>21</sup>」のグループが登場し、難易度の高いダンスと華やかな衣装で観

客を惹きつけました。続いて「ソレデモシタイ」のグループが登場。全員男子のグループで、コミカルな息の合ったダンスでした。どちらもラストはひな壇にいる全員がダンスに参加。それぞれのグループを盛り上げます。音楽部吹奏楽団による美しい「チェリー」の演奏が続いて、3年間を振り返る構成詩。今までとこれからの輝きを表現するために、ひな壇には全員で虹を完成させました。その後の「虹色」の合唱は、声と心を合わせて楽しく歌いました。最後に「KING OF THE」のグループが登場。まずは選抜グループがダンスを披露しました。曲の2番からはフロアの照明が消え、ひな壇ではライトでの演出。再び照明がつくとダンスの人数が増えて迫力が増し、ラストは学年全員の「ランニングマン」という振り付けで団結力を見せました。後輩・先生・家族・仲間へ、感謝の気持ちと今後の決意を述べた構成詩のラストでは、一人一人の「夢」が書かれた紙飛行機を「翔はた」ばしました。最後を飾る合唱は「今、咲き誇る花たちよ」。「天高く羽ばたけ」の歌詞が今回のテーマとマッチし、美しく力強い、感動的な合唱になりました。

たった30分の舞台でしたが、3年間の集大成として、さらに高校へのスタートラインに立つにふさわしい出し物となりました。



## 英語教育と国際化

先日、文部科学省の有識者会議で、小学校の英語教育を教科に格上げし、アジアでトップクラスの英語力を目指すとの報告書をまとめた発表がありました。

さて、ここで疑問があります。英語教育を小学校から教科として教えたならば、日本人の英語力が飛躍的に向上し、世界に羽ばたく国際人が数多く輩出されるのでしょうか？

今までの英語教育でも、世界中を飛び回っている国際人は数多くいます。英語教育の開始を数年早めただけで、日本人の英語力が、見違えるほど上がるように思えないのは、私だけでしょうか？今でも海外に出て活躍している人は、高い意識を持って英語を勉強し、英語力を身に付けている訳ですから、英語を学ぶ側の意識の問題もあると思われれます。

ただ、これからの時代は、海外に出て行って英語を使うだけではなく、海外から異国の人、つまり異国の文化・習慣を持つ人を受け入れることが必要です。世界中から様々なバックグラウンドを持つ子供達が日本にやってきて、学校の同じクラスで机を並べて勉強し、その子供達との異文化コミュニケーションを交わしていく必要が出てきます。もちろん、親同士のコミュニケーションも必要になるでしょう。日本人と違っているからといって「あなた、なんか変ね」では、済まされない時代がやってきます。ちなみに、「あなた、なんか変ね」をそのまま単純に英語にして、「You're strange.」なんて言ってしまうと非常に失礼で、友達にはなってくれないかも知れませんか。日本人と違う事が「変」なのではなく、違いは「different.」くらいが良いのではないのでしょうか。日本人と違う事が「変」なのではなく、違いは「different.」として受け入れて、相手の文化・習慣を尊重する姿勢も、英語を習得する以前に必要ではないでしょうか。

(金光学園やつなみ保護者会 副会長)

## 安原敦子

## 目次

巻頭言	1
金光学園 中学・高等学校入学式	2
道 <sup>(1)</sup>	10
学園生の故郷	12
自画像	15
活躍する卒業生	16
やつなみ保護者会のページ	18
会長就任挨拶	20
友愛セーブルご協力のお願い	21
やつなみ保護者会地区会	22
活躍おめでとう	23
イギリス短期語学研修	26
ブラス韓国遠征	28
高一一日旅行	30
中学生になって	32
新入生歓迎会	34
中1入校時合宿	36
中3沖繩修学旅行	38
中2大佐山教育キャンプ	44
探究授業報告	48
ある日のホームルーム	50
芸術鑑賞会	52
高三人権講演	56
オーブンスクール	60
法人決算の概要	65
保護者会決算・予算	66
会報	66
平成27年度大学入試結果	65
生徒会活動	66
学園だより	75
教室の窓から	78
編集後記	

# 金光学園 中学・高等学校 入学式

4月8日、入学式が挙行された。中学は午前9時から184名が、高校は午後1時30分から225名(留学生1名含む)が、来賓・保護者・教職員の祝福を受けて新たな出発をした。

校長式辞の後、中学は加賀陸馬君が、高校は堀啓造君がそれぞれ「願いの言葉」を力強く述べた。続いて学校法人理事長の挨拶、来賓を代表して中学は金光教務総長 岡成敏正氏のご代理、教務部長 山本正三氏、高校は金光教務総長 岡成敏正氏の祝辞があり、次に、保護者を代表して中学は岡雅彦氏、高校は坂本喜美子氏の挨拶があった。終わりに、中学は生徒会事務局と音楽部による学園歌紹介、高校は学園歌斉唱で式の最後が締めくくられた。

## 式辞

校長 金光 道晴



ご来賓の皆様には年度初めの、公私とも大変ご多用のところ、お練り合わせご臨席を賜り、誠に有り難うございます。保護者の皆様には、お子様の入学、誠にめでとうございます。地元の中へ行けばよいところを、私学である本学園の教育を選んで、お子様をお寄せいただいたこと、誠に有り難く嬉しい

ことであります。

金光学園に入学されたということは、本学園とこれから生涯にわたる深く尊いご縁ができたということでもありますし、お子様をご両親にとって、大切な子供であると同時に、私も学園にとっても大切な子供となったわけです。私達もうちの子として6年間大事にお預かりし、保護者の皆様と「あいよかけよ」で手を携え、協力し合って、お子様の健全な成長を見守り、共に育んでまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、184名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

金光駅周辺や、校庭の校も先週の暖かさで、数日前には一気に満開になり、葉桜に変わろうとしています。その上雨の日が続く、今日の入学式には散ってしま



うのではないかと思っていました。今なお花を残り、皆さんの入学待って、祝ってくれているかのようにあります。私達にとっても、フレッシュな新入生を迎えることができ、これから皆さんと一緒に勉強していくことができること

は、大変嬉しいことであり、心からの歓迎をしたいと思えます。

ところで、皆さんは入学前にも、学園の合言葉である「人をたいせつに、自分をたいせつに、物をたいせつに」という言葉を、何度も見たり聞いたりしたこと

があると思えます。この言葉は正門の石碑にも大きく刻まれています。えんじ色のバックに金色の字で「人をたいせつに、自分をたいせつに、物をたいせつ」と書かれています。これと同じものが、皆さんがこれから勉強するすべての教室にかかげられています。この言葉は、生徒も保護者も教職員も、そして卒業生にいたるまで最も大切にしていく言葉で校訓と呼ばず、「合言葉」呼んでいます。

生徒の皆さんにだけ、守ってもらおうというものではありません。生徒も、皆さんのお父さんやお母さんも、私たち教職員も、卒業生も全ての金光学園に関係する人達、つまり仲間が行動の目標や目当てとするもので、みんなで努力しあっているという願いなのであります。

金光学園ではこの「人、自分、そして物をたいせつ」に由来、世の中のお役に



立つ人を育てることを願いに、ににちうちの教育活動を進めています。

今日は、つい先日、国内外で、この「合言葉」の実践に取り組んできた、音楽部の活動について少しお話ししたいと思います。

その1つは音楽部コーラスです。コーラスは先月の20日、東北福島県で開催された、声楽アンサンブルコンテストの全国大会に出場しました。実は4年前も出場することが決まっていたのですが、その年の3月11日には東日本大震災が起きました。大会そのものが中止になってしま



そして今年4年振りのアンサンブル全国大会への出場を果たしたのであります。優良賞はいただいたものの、残念ながら本戦には進むことができませんでした。しかし、それ以上に大きな働きや、体験をすることができました。校内で

行った募金を福島県に届けたり、南相馬市の避難住宅を訪れ、被災者の方々へ歌声を届けるたりすることができました。そして避難生活を送られている方々とも交流ができ、私たちも涙を流すほどの感動をいただき、あちらの新聞にも2日にわたって取り上げていただきました。一方音楽部吹奏楽団は5年ぶりの海外講演として、3月30日から4日間、韓国訪問演奏を行いました。ソウルやチョンジョンでの3回のコンサートや韓国の高校生との交流会を持ちました。今ニュースなどでは、日韓関係は政治的歴史的に、悪化している報道が次々にされていますが、今回の訪問は全くそんなことはなく、この海外公演も大成功で、受け入れていただいた韓国の方々にも大変喜んでいただき、音楽を通して心を伝え、音楽を通して友好・親善を深めることができました。

コーラスは福島県で、吹奏楽団は韓国でいずれも「合言葉」を立派に実践し、大きな成果を挙げることができました。私は、この合言葉こそ、いじめや差別はもとより、民族紛争や、国と国との対立、環境問題など、今日人類が抱えている

る全ての問題を解決するキーワードだと思っています。どうぞ新入生の皆さんには、これから6年間かけて合言葉の中身をしっかりと身につけていただきたいと思っています。そして、人・自分・物を大切に出来る人、合言葉を実践できる人になっていただきたいと願っております。



もう1つお話しします。今日この後のHRで皆さんには、このような金光教の教祖様のみ教えが書かれている日めくりを記念としてお渡ししますが、

今日の8日の日めくりには「食物はみな人の命のために天地の神がつくりあたえ給うものぞ」という言葉が書いてあります。これには続きがあつて「何を飲むにも食べるにも有り難くいただく心を忘れなよ」という言葉がさらに続き、食前訓といって金光学園では食事の前に唱える言葉でもあります。

食事がおいしくおなか一杯いただけることや、水などが飲めることも、決して当たり前のことではなく、感謝の気持ちをお忘れはいけません。食べ物だけのことでありません。私達はあたりまえに過ごしている日常生活も、実に多くの恩恵を受け、色々な人や物のお世話になつているのであります。今日の朝起きてから今までの数時間のことを考えても、朝元気で目覚めさせてもらったこと、おいしく朝ごはんをいただいたこと、靴や服や鞆などにお世話になつてお互い今ここにいます。

皆さんは今日どうやって学校に来たでしょうか。お父さんやお母さんと一緒に家の車で来た人もあるでしょう。電車やバスのお世話になつた人もあるでしょう。そして何より、お父さんお母さんを通して、天地からいただいた元氣な命があるからこそ入学ができ、今日の喜びを感じることができるのであります。病氣や怪我をしていたら今日の入学式にも出席することは出来なかつたかもしれません。

これらのことはあたりまえのように思うかもしれませんが決してそうではないのです。改めてそのことに心から感謝したいと思います。そして今日から皆さんも合言葉の全てを大切に心や感謝する心をしっかり胸に刻んで、これからの学園生活を一生懸命努力していただきたいと思ひます。

勉強はもちろん、生徒会行事、部活動などいろいろな活動に全力を尽くし、心身を鍛え、豊かな人間関係を養い、友達と仲良くして立派な金光学園の生徒として成長していくようお祈りして式辞いたします。「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」

### 法人理事長挨拶

佐藤 乃武雄



春雨とともに春爛漫のご時節をお迎えし、日本列島桜前線いち早く到来し、入学式を祝うかのように、鮮やかに満開となりました。間もなく新芽が吹き出し、新緑となり、新しい生命が宿る絶好のご時節を迎えます。

このような麗しき天地のお恵みの中に、このたび、見事に私立金光学園中学校の入学試験に合格された生徒の皆様方には、まことにおめでとうございます。保護者の皆様方と共に、心よりお慶びを申し上げます。殊に、ご来賓の皆様方には、常から変わりのない温かいご理解とご支援を賜り、まことにありがとうございます。既にご承知のように、昨年11月には創



立120年記念事業として、「120記念館」が見上げるように立派に竣工されました。おかげで、教育施設も更に充実し、今後の成果が期待されることとなります。

さて、先の金光教教主・金光鑑太郎様は、「ちちははも こどもとともに うまれたり そだたねばならぬ 子どもちちははも」と詠まれました。

ただ今からは、親も子も共に中学校1年生として入学し、共に喜び合い育ち合い、共に祈り合う仲間として出発し、中高一貫の学園教育が実りあるものとなり、また、交通事故に遭遇することのないよう、家庭生活が平穏無事健やかに維持され、大願である大学進学の実現が実現されますよう、切にご祈念申し上げます。

終わりに、ご来賓の皆様方、保護者の皆様方には、ますますのご健勝とご繁栄をご祈念申し上げて、入学式のご挨拶とさせていただきます。

## 私達の願い

中学新入生代表 加賀 陸馬

あたたかい春の日差しを感じ、色とり

どりの花が咲きほころぶ今日、私達新入生、184名は、歴史ある金光学園中学校の入学式を迎えることができ、とてもうれしく思っています。

今、私達は金光学園生としてスタートを切りました。大勢の友達と触れ合う喜び、新しく始まる勉強や部活動にたくさんの期待と不安を感じています。

ほつまつ祭や体育会などの行事ごとに絆を深めていけるよう、金光学園の合言葉である「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」を心にとめて、校長先生をはじめ全ての先生方、先輩方からの知識をいただきながら伝統ある金光学園に恥じない立派な学園生に成長したいと思っています。まだまだ不慣れな私達が時に困難な壁にぶつかるともあると思いますが、それぞれの個性を発揮し、自分で決めた目標を胸に最後まであきらめず頑張りたいと思います。

最後になりましたが、校長先生はじめ多くの先生方、そして先輩のみな様これからご迷惑をおかけすることもたくさんあると思いますが、温かい目で見守ってくださいますようよろしくお願ひ致します。

本日は私達新入生のためにこのような

盛大な式をとり行っていたいただき、まことにありがとうございます。

## 中1保護者代表挨拶

岡 雅彦



新入生の保護者を代表致しまして、一言ご挨拶申し上げます。

本日は、子どもたちのために、このように厳粛かつ盛大な入学式を執り行って頂きましたことに保護者一同、心から御礼を申し上げます。また、理事長先生、校長先生、ご来賓の皆様には、お心のこもった励ましのお言葉を賜り、親子共にお変りうれしく思いますとともに、身の引き締まる思いであります。

このたび尊いご縁を頂き、184名の新入生が、夢と希望を胸に、金光学園での学

校生活をスタートしました。中学高校時代は、心身共に大きく成長していく感受性の豊かな、そして大切な時期であります。創立以来、121年の歴史と伝統のもとに築き上げられてきた金光学園の教育方針は、勉強やスポーツに励むことはもちろんありますが、金光教

の教えに基づく心の教育を通して、豊かな人間性を育てていくことができるものと確信しております。

「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」との合言葉には、深い意味と多くの教えが込められていると思います。大切にすること、丁寧にする、全てのこと、心に込め、思いを寄せていくことです。私たちは皆、命を授かり、日々生きています。それぞれの命を掛け替えない尊いものとして、みんなが仲良くしていく生き方を学び、身に付けていくことだと思ひます。

日々、当たり前にあることがどれほど恵まれているか、天地の恵みと働き、そして多くの人の世話になって、生かされて生きているという、感謝と喜びの心を、子どもたちと共に私たち保護者も磨き、親として成長していく所存であります。

さて、新入生のみなさん、入学おめでとうございます。今日から6年間、授業や部活動をはじめ、さまざまな行事、また地域社会に根差した活動など、金光学園ならではの、いろいろな学びのチャンスに恵まれます。うれしいことや楽しいこともあれば、困難なことあるでしょう

うが、友達や仲間と切磋琢磨しながら、挑戦し、一人一人が生きていきと目標を実現し、社会のお役に立つ人になれるよう、学園生活を送ってください。私たちも精いっぱい応援します。

校長先生をはじめ諸先生方、そして地域の皆様方には、まだまだ未熟な子どもたちですが、どうか温かく見守って頂き、時には厳しくお導きくださいますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、ご来賓の皆様には、お忙しい中、ご臨席を賜りましたことを、心より御礼申し上げます。これももちまして保護者代表の挨拶とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。

## 願ひの言葉

高校新入生代表 堀 啓造

春風に桜の花びらが舞う今日この頃、私たち新入生224名と留学生1名、合わせて225名は晴れて金光学園高等学校の入学式を迎えられることに心から感謝いたします。

私たち新入生はしっかりと将来の夢に



向かって仲間と共に、一生懸命努力し、何事にも積極的に取り組み、これから始まる高校生活を有意義で悔いの残らないものにしていきたいと思っています。

私は中学校3年間で「仲間の大切さ」を学びました。仲間と共に助け合い励まし合って、多くの高い壁を乗り越え、共に喜びを分かち合ってきました。これからも更に仲間との絆を深め、一人ひとりがかけがえのない存在となり充実した3年間を過ごしたいと思っています。

私たちは今、大変恵まれた中で生きています。決して一日一日を無駄にすることなく、感謝の気持ちを忘れずに、日々精進していききたいと思っています。

最後になりましたが、本日は私たち新入生のためにこのような盛大な入学式を催していただきありがとうございます。

校長先生をはじめ諸先生方、お父さん、お母さんには、これからも厳しく、温かく私たちをご指導くださいますようお願い申し上げます。願いの言葉とさせていただきます。

## 高1保護者代表挨拶

坂本 喜美子



新入生の保護者を代表しまして、僭越ではございますが、一言ご挨拶させていただきます。

校長先生、並びにご来賓の皆様にご臨席を賜り、このような盛大な入学式を催して頂き、誠にありがとうございます。又、先程は校長先生、理事長先生、ご来賓の皆様からの温かいお言葉を拝聴致しまして、子どもたちと共に、保護者一同、心よりお礼申し上げます。

子どもたちは、ご縁をいただいて、この金光学園高等学校に入学することができました。金光学園には「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」という合言葉があります。私自身、

金光学園在学中からこの合言葉をいつも胸に抱き、折に触れては何度も繰り返し唱えておりました。そのおかげで私自身の人生において、なくてはならない、とても大切な言葉になっております。両親をはじめ、家族、友達等：自分に関わって下さっている全ての人に感謝すること、自分自身よく考え、悔いのない毎日を送ること、教室や校庭、学習道具等：身の回りの物を大事に扱うことではないかと私は解釈しています。これら全てに感謝の気持ちを日々持つことによって、ではと命を大切にすることに繋がるのではと思っております。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。9年間の義務教育を終え中学生から高校生になった皆さんは、自分の意志で自由に行動できる範囲が広がった反面、その行動に関して厳しい責任を伴ってきます。私たち保護者は、皆さんの高校生活を応援し、全力でサポートする努力は惜しみません。しかし、最終的な責任は皆さん自身にあるということをしつかりと念頭において下さい。やがて、自分の将来はどのような道を進んでいくのかと思悩む日々もくることで

しよう。親から自立し、社会で生きていくために、どのような能力を身につけ、目標に向けてどう取り組んでいくのか：家族はもちろんバックアップ致しますが、先生方もご指導よろしくお願い致します。何事も納得するまで考えて出した結論は、人生において後悔のない選択に

なると思います。

3年間という年月は長いようであつという間に過ぎていきます。将来に向け悔いのない高校生活を送れるよう、自分磨きをしっかりと楽しんでください。友達同士話しているうちに「親友」と呼べる生涯の友もできるかと思えます。そして、私たち保護者も金光様の教えにありますように「ちははも こどもとともに うまれたり そだたねばならぬ 子どもちははも」の精神で子どもたちと共に成長していきたいと思っております。子どもたちがより有意義な学園生活を送ることが出来るように、先生方と協力して日々精一杯の努力をさせていただく所存でございます。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、諸先生方、これからの3年間、親子ともどもご指導を賜り、お育ていただきますよう、何卒よろしくお願い致します。

私たち保護者も子どもたちが充実した学園生活を送れるよう日々見守っていきたいと思っております。

簡単ではございますが、これで挨拶に代えさせていただきます。本日は本当にありがとうございました。





# 道 (12)

金光 道晴

## 「修学旅行の思い出」

この文章を書いた6月16日は、高校2年生が、以下の3コースに別れての修学旅行に出発した直後であります。一昨日はオーストラリアコース（5泊6日）が出発し、昨日はシンガポール・マレーシアコースと北海道コース（いずれも4泊5日）が出発しました。どのコースもすでに目的地に無事到着し、順調に旅程を進めていると連絡が入ってきました。安全で有意義な、思い出に残る修学旅行になればと願っているところでもあります。

そこで、今回は私の修学旅行の思い出や、学園の修学旅行の変遷について書こうと思います。私の中学での修学旅行は四国、高校は九州一周でした。金光学園の修学旅行の歴史の中で、最も長く続いたのは九州修学旅行で、昭和29年〜平成4年まで40年近くも続けられたのであります。したがって、現在の年齢が40歳以上の卒業生のほとんどの人の修学旅行の思い出は九州なのであります。

さて、私自身の高校修学旅行は、もう40年以上前のことですが、なんと7泊8日の長旅だったので。生徒達にその話をしますと「えーなんてー」とびっくりしますが、新幹線のなかった時代、7泊のうち2泊は寝台列車での車中泊で、5

泊は九州各地の旅館に宿泊したのです。もちろん高速道路などありませんから、バスや列車を乗り継いでの旅行でした。ところによつては舗装されていない道路もあり、上下左右に揺られながら、前のバスの巻き上げる砂ボコリをかぶりながらのバス移動もありました。今は岡山から鹿児島まで、新幹線で3時間、高速道路の移動でもわずかな時間で目的地に着くことができます。昔と今では比べようありませんが、私にとつて、あの長旅はとても趣があり懐かしい思い出となっております。

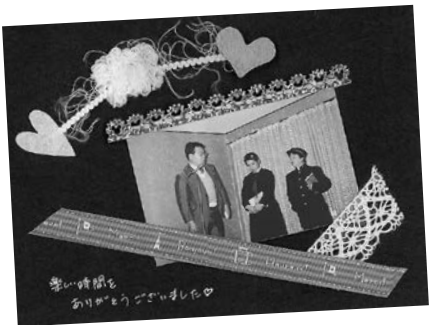
九州各地では金光教の教会の方々が、駅や道路で旗を振つての出迎えや見送りをしてくださりました。到着をブラスバンドの演奏で迎えてくださった教会もありましたし、昔からご縁の深い小倉教会は毎年、九州の地図を染め抜いたタオルを生徒全員にくださったりしていました。

各地で見えるもの、聞くものが新鮮で、楽しく、長崎・熊本・阿蘇・鹿児島・都井岬・青島など、思い出は尽きません。夜騒いで先生に叱られて落ち込んだこと。阿蘇の草千里でドキドキしながらフォークダンスをしたことなども懐かしい思い出であります。卒業して何十年も経っているのに、いまだに同窓会を開くと当時の修学旅行の話で盛り上がるのであります。

私が教員として母校に奉職してから



行について行かせてもらいました。が、やはり色々な思い出があります。20代の時には6年連続で九州修学旅行に行き、添乗員より詳しくなつたようなこともあります。大変だったことも沢山あります。広島や神戸から宮崎まで、船（船中泊）で行くこともありましたが、低気圧の接近で船が大揺れし、教員も生徒も、ほとんど全員が動けないほどのひどい酔いになってしまったこと。生徒が旅行中に問題を起して大変だったこと。夜の集いの教員の出し物にセーラー服姿で出演させられ、恥ずかしい思いをしたことなど、思い出は尽きません。



平成5年からは九州から信州へと、行き先も日程も変更になりましたが、信州修学旅行の初年度は学年主任として一緒に行かせてもらいましたし、3年後に北海道に変更となった最初の年も、やはり学年主任として行くことになりました。

平成16年からは現在のようなコースに別れて行くようになりました。当初、国外はオーストラリアコースと中国コース、国内は北海道コースでしたが、年によってはSARSなどの流行などで、北海道1本に絞ったり、中国コースを取りやめたりしたこともあります。

現在オーストラリアコースは、ケアンズに近いアサートン高原での4日間のホーム（ファーム）ステイと世界遺産の熱帯雨林キュランダやグレートバリアリーフの珊瑚の島、グ

リーン島などを訪れるのが目玉です。ちょうど今頃、生徒達はファミリーと英語でのコミュニケーションに悪戦苦闘しているころだと思えます。さわやかなオーストラリアの秋の農場や大自然を楽しみながら交流をしていることと思えます。

もう一つの海外コースであるシンガポール・マレーシアコースは、シンガポールの学生との交流や隣国のマレーシアのプライ村でのホームステイなど、対照的なアジアの2カ国を訪れることが魅力です。しかし、心配なこともあります。実はシンガポールへは、韓国の仁川国際空港で飛行機を乗り継ぐ旅程で、帰りは少し乗り継ぎ時間があるため、ソウル市内も見学するという3カ国を訪問できるというプランになっていました。しかし、5月下旬から韓国では突然MERS問題が発生し、6月になつても感染は広がっているため、ソウル市内見学は取りやめました。仁川空港からは外へ出ず、空港内でも全員マスクを着用するなど、細心の注意をはらって乗り継ぎを行うことにしています。

最後の北海道コースは、何と言っても北の大地の雄大な自然とおいしい食べ物魅力です。ニセコでのペンション村の宿泊も楽しみです。ここ数年は知床や網走など道東にも足を伸ばしおりましたが、やはり移動の時間を考えて取りやめ、今年は例年の札幌や小樽などに、新たに函館を加えてのプランです。先ほど、函館の夜景がとてもきれいで感動したという電話が入ってきました。3コースとも今週末には帰ってくる予定です。それぞれの修学旅行が、思い出に残る素晴らしいものになることを祈っているところであります。

次回の「やつなみ」には、生徒の修学旅行の感想文が掲載できると思えますので、お読みいただけたらと思います。



## 「ここから通っています」 学園生の故郷

### 神奈川県厚木市

厚木市というと、「厚木基地のあるところですか?」と尋ねられる事がありますが、厚木基地は綾瀬市にあり、厚木駅の所在地は海老名市です。そして、厚木市にある駅は本厚木駅で、本来の厚木という意味だそうです。

厚木市は、神奈川県ほぼ中央に位置し、東名高速道路の厚木インターチェンジがあります。インターチェンジがあり首都圏に近いという事から、研究開発、流通およびサービス業などの企業が集積していて、昼間人口の方が夜間人口を30000人程度上回っているそうです。この厚木インターチェンジから、金光町の近くにある鴨方インターチェンジまでは、約638km、高速道路を平均速度で休まず走って7時間程です。世界遺産である富士山まで車で約2時間、箱根が1

時間弱、伊豆半島も日帰りドライブが出来る距離という観光名所に恵まれた立地です。  
厚木市は、市街地を離れると長閑なところが多く、『飯山温泉郷』と『東丹沢七沢温泉郷』の2カ所の温泉郷があります。



『飯山温泉郷』は、東丹沢山麓の東端に位置し、風雅な宿が小鮎川に沿って点在しています。昭和6年に、最初の旅館である大和屋が開業、昭和44年には芸妓置屋が開業し、昭和62年の芸妓総数は120人に達したそうです。大和屋は閉館し芸妓の数も減りましたが、現在でも4軒の旅館と1軒の民宿、2軒の芸妓置屋があります。首都圏に近く社員旅行に利用される事や、周辺にある5つのゴルフ場に訪れる人が多い事から、置屋が存続し芸妓が親しまれているのかもしれない。また、坂東三十三ヶ所の第六番札所である飯山観音長谷寺があり、白龍伝説の白龍雨乞いの舞と白龍太鼓が現在も保存されています。『東丹沢七沢温泉郷』の方は、大山の東陵に位置し、「七沢温泉」に6軒と「広沢寺温泉」「かぶと湯温泉」に各1軒の計8軒の旅館があり、江戸末期頃には湯治場として人々の間に定着していたという古い歴史を持っています。丹沢の大山から約6km東の山裾の斜面に、閑静なたたずまいをみせる旅館が建ち並び、温泉情緒を醸し出しています。首都圏内とは思えない大きな自然と貴重な静寂、四季折々の花や木、鳥や虫の声の中

で、活力を得て自分を取り戻す。そんな『現代湯治』の時間を過ごすことが出来ます。

神奈川県出身という事で都会育ちの様に思われるかもしれませんが、息子が育った厚木市は、山と川に囲まれた自然豊かな所です。親元を離れての在学の為、先生や保護者の皆様にお世話になる事が多々あると思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

最後にこの場をお借りして、平成26年2月28日に、金光駅でお会いした卒業生の千帆海ちゃん、梨沙ちゃん、莉彩ちゃん、進路の選択肢に金光学園を入れるきっかけをくださりありがとうございます。あの日の出逢いが、息子を金光学園に導いてくださったのです。心よりお礼申し上げます。

高1の母 加藤 妃登美

### 「みなと町」尾道・坂の町「尾道

私たち一家が尾道に移住したのは12年前の秋である。その年の忘年会の帰りのタクシーの中、ほろ酔い気分の私に運転

手さんが「お客さんは尾道の方ではないね。どこから来られたの?」なんとなくイントネーションが違うね。尾道は良い所でしょう。この辺は埋め立て地だね。はるか昔は山が海まで迫っていて、そこには尾っぽのような細い一本の道が通っていてね。それで尾道と呼ばれるようになったらしいよ」と独り言のようにつぶやいた。尾っぽと聞いて、猫の尾を思い浮かべ少し可笑しかったが、山が海まで迫る原野にたった一本曲がりくねった細い道があり、古の旅人達は対岸に島を眺めながらその道を往來したのだろう。そんなことを考えて、しばしノスタルジックな気分浸っていた。

しばらくして、無性に尾道の歴史を調べてみたくなった。尾道の名の由来は3つあるようだ。定説になっているのは「山の尾の道」。かつて大宝山(千光寺山)、摩尼山(西国寺山)、瑠璃山(浄土寺山)の各山が海岸に迫り、山の尾根伝いに一筋の通りがあったことから尾道の名がついたらしい。尾は山の尾根であり、猫の尾っぽとは違うことが判明した。タクシーの運転手さんは、今も観光客を乗せるたびに、尾道の名の由来を尾っぽ

のような道で説明しているのだろうか。『伊尾の道』起源説もある。嘉応元年(1169年)、世羅郡甲山町を中心にしてきた大田庄という荘園で収穫された米、麦の積み出し港が、後白河法皇により尾道に指定されたが、大田庄の中に伊尾という場所があることから「伊尾の米の道」が尾道になったらしい。もう一つは「漣(みお)の道」起源説。水脈とも書いて「みお」と読む。海船が通る水路のある港町から「漣の道」が尾道になったらしい。

永保元年(1081年)には尾道浦、仁安3年(1168年)には尾道村の記載があり、尾道はかれこれ900年を超える歴史のある町だ。「ぬばたまの夜はあけぬらし玉

の浦にあるさりするたず(鶴)なきわたるなり」万葉集の古歌に出てくる玉の浦。尾



写真1 曹洞宗天寧寺。三重塔(海雲塔)は貞治6年(1367)に足利義詮が建立した。



写真2 初秋の尾道水道。かつては尾道海峡とよばれた幅200～300mの水道を渡船が行き交う。

道の別名が玉の浦である」と説明できる記録は、約900年前の西国寺古文書の中にある。千光寺にある巨岩の頭に珠玉があり、毎夜海を照らしていたとの言い伝え。玉のある海辺という意味から玉の浦という名がついたようだ。

尾道が備後国大田庄の船津倉敷地の指定を受けて公認されると、大田庄の年貢積み出しのために蔵屋敷が建てられ、「みなと町」尾道が誕生した。この時期に生まれた海運業者である梶取は、船の安全を祈願して海の見える山麓に寺院を建立した。建武三年(1336年)、京都を追われた足利尊氏は、九州への西下途中に浄土寺で戦勝を祈願し、室町幕府を開いた後に浄土寺利生塔を建立した。また、戦国大名の山名宗全は、長年にわた



写真3 尾道三山の山麓に灯る3万個の灯り。毎年10月に行われる尾道灯りまつりは尾道を代表する祭りの一つでもある。

り西国寺を庇護して莫大な寄進を続けた。室町時代末期には、石見銀山の銀を運ぶ石州街道が尾道に通じ、尾道港から都に向けて銀が船積みされ、江戸時代になると北前船の寄港地となり、北前船一隻で一夏に一千両稼いだとも言われている。瀬戸内のみなと町として繁栄した尾道は大商都となり、豪商達は船の安全と商売繁盛を祈願して山麓に次々と寺院を建立した。

「汽笛一声新橋を、はや我汽車は離れたり」。明治5年新橋から横浜まで開通した鉄道も、明治24年には尾道市内の区

間が開通した。これにより、千光寺山、西国寺山、浄土寺山の中腹にある寺院の参詣路が分断され、町も海の手と山の手に分断された。立ち退きを余儀なくされた多くの家屋は清浄な伽羅の地である山の手に移り、茶園と呼ばれる豪商たちの別荘も建設され、ここに寺院と民家が混在する「坂の町」尾道が誕生したのである。

尾道と対岸の向島を行き交う渡船に乗れば、尾道が「坂の町」であることを実感できる。平成25年4月に尾道大橋通行料が無料となり、渡船は厳しい経営環境に置かれていたようだ。尾道の町並みや尾道水道そのものの景色が楽しめ、旅客運賃は大人100円、小児50円と安価である。市民の生活に欠かせない交通機関であり、尾道を代表する風景のひとつでもある。これからも存続してもらいたい。古刹を参拝するもよし、山の手路地裏を散策するもよし、レトロな商店街にある洒落たカフェでお茶をするもよし。日本の原風景といわれる尾道をゆっくりと観光されてみてはいかがだろうか。

中1の父 廣岡 孝彦



山口 紗生



今年度より金光学園に勤務させていただくことになりました。山口紗生と

申します。教科は国語で、中2と高2文系を担当しています。所属学年団は中2で、部活動は卓球部を担当しています。

私は金光学園を卒業しており、こうした巡った縁により母校で働かせていただいていることに幸せを感じております。また、自身が大切にしている人との関わりを生徒たちにも大切だと感じてもらいたいと思っています。

私は、「二期一会」という言葉を座右の銘としています。日々の生活はもちろんのこと、授業もその1時間は生徒にとっては人生に一度きりです。人生に一度の大切な時間を、より素晴らしいものに築き上げる気

持ちで向かい合いたいと思っています。

教員1年目でまだまだ至らない点があると思いますが、誠心誠意、努力して参りたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

小池 智士



今年度より金光学園で勤務させていただくことになりました。小池智士と

申します。高1学年団に所属しており、古文と国語論文の授業を担当させていただいています。また、部活動では、中学校男子ソフトテニス部を担当しています。

金光学園のことは、大学の友人から話聞いたことがある程度で、実際に勤務するまではどのような学校なのか不安もありました。しかし、生徒たちがその不安を払拭してくれました。金光学園の生徒たちは、本当に素直な子が多く、この子たちの学校生活が良いものになるよう一杯の努力をしてくれていることに決意させてくれました。ご縁があって、金光学園という素晴らしい学校で、長年の夢であった教員としてのスタ

トを切ることができたことをとても幸せに感じています。精一杯がんばりますので、どうぞよろしくお願ひします。

### 表紙の言葉

岡本 健

ほくは、この版画にこの俳句を決めたには理由がある。ほくは、まだ将来の夢というものが明確に分かっていない。担任の山下先生は高校生になったら進路希望というものがあるよと、言われた。ほくはこの金光学園に入った理由として高校受験がないということで選んだ部分がある。高校受験がないということは自分の将来について考える時間が人よりも多くあるということだ。

だから、ほくはかたつむりのように、ゆっくりでもいいから自分の将来という富士山に確実にのぼってきたいと思った。

これからの学園生活は勉強と行事との両立をめざして未来のためにがんばっていきたいと思ひながらこの版画をほった。



## 「ほつま歯会」発会にあたり

高木 慎 (高19回)

私は昭和42年金光学園高校卒業後、昭和48年大阪歯科大学、岡山大学医学部口腔外科学教室入局、昭和54年岡山県歯科大学の協力により岡山大学に歯学部(18講座、10診療科、学生定員80名)が創設されました。昭和58年創設された香川医科大学(現香川大学医学部)附属病院歯科口腔外科に助教授(現准教授)として赴任、昭和63年岡山大学歯学部に移任し、歯学部附属病院は平成15年医学部と統一され岡山大学病院、岡山大学歯学部は大学院大学となり医歯薬学総合研究科(歯系・19分野、12診療科、学生定員53名)となりました。平成26年より学校法人本山学園インターナショナル岡山歯科衛生専門学校および岡山医療技術専門学校校長に在職しています。

岡山県歯科界では、現在、岡山県歯科医師会会長は酒井昭則(高18回)先生で金光学園卒業生です。昨年夏、酒井先生

と話をする機会があり、金光学園出身の歯科医も多数いるようなので集まってはどうでしょうかと話してみました。酒井先生は準備して、名簿までできている、発会までやるから後はお前達がやれとのこと準備が始まりました。原則岡山県在住の歯科医師に案内し、酒井先生主導で名簿の修正、発起人決定、発起人会開催などを行い、4月12日に発会式および第1回総会を行うことが決定しました。当日は晴天で、希望者約20名が午前11時に金光駅に集合し、金光学園金光道晴中学・高校校長先生に現在の金光学園を案内して頂き、懐かしいメタセコイヤ、記念講堂、岡山国体会場となった当時の体育館、テニスコート、グラウンド、現在の宗教教室等を見学させて頂いた後、発会式会場の土佐家に合流しました。午後1時より東は備前市、西は笠岡市、北は津山市から名簿上74名中40名が集まり、発会式

が開催され、金光道晴中学・高校校長先生の挨拶を頂いた後、酒井昭則発起人代表の司会にて会則が議論されました。会の名称は「ほつま歯会」、会の目的は会員相互の親睦融和を図り、母校ならびに歯科界の発展に寄与する、会員は金光学園出身者で岡山県在住の歯科医師で組織するとし、他県在住者でも希望があれば入会できることとしました。役員は、会長・高木 慎(高19)、副会長・鈴木勝己(高20)、岸本一真(高26)、幹事長・三海正人(高27)、副幹事長・飯田基弘(高30)、松本浩一(高36)、幹事・平田基弘(高34)、城山 博(高37)、宮尾泰廣(高39)、石田展久(高44)、顧問・酒井昭則が決議されました。その後、土佐家の玄関前にて参加者全員の記念写真撮影をした後、懇親会に移りました。高26回の岸本一真副会長の開会の挨拶の後、酒井昭則先生から従来の歯科医師会合とは違う雰囲気だと挨拶、私より折角できた会で、すので今後も継続して開催をと協力依頼の挨拶を行いました。次いで、岡本健一郎(高18回)先生の乾杯の発声で祝宴に移りました。会員一人ひとりから金光学園時代の思い出話(寄宿舎、メタセコイヤ

や、宗教の時間、クラブ活動のこと等々)や会員自身の現況の報告等自己紹介があり、青春時代を共に過ごした、共に育った何かしら安心感が感じられる、和やかに楽しい時を過ごす事ができました。最後に懐かしい金光

学園校歌を全員で高らかに合唱し、盛会の内に、鈴木勝己副会長よりの閉会の挨拶があり、来年の集合を約束して散会しました。



のように歯科医院を盛業されつつも、高18回酒井昭則先生は岡山県歯科医師会会長の要職にあり、高26回石井雅之先生は吉備中央町町議員、高27回小松久高先生は津山市歯科医師会副会長をされて活躍されています。現在、岡山県歯科医師会会員が約1050名の内、金光学園出身者が約65名在籍し、今回は岡山県内在住の歯科医師に案内しましたが、福山市等を含めればさらに多数になるのではないかと思います。金光学園出身者の医師の会「ほつま医会」(高19回渡辺哲夫会長)を参考にいつまでも楽しい会が継続するよう願っています。また、金光学園在校生の歯科医師希望者があれば歯科界の説明協力も惜しまないつもりです。さらには金光学園発展のための微力になれば幸いと考えております。

そのためには口の健康が大切で、その口の健康を保つには口腔衛生が大切です。その口腔衛生を担うのが歯科医師および歯科衛生士になります。そのため従来歯科医院でしか見かけなかった歯科衛生士が現在は、病院、高齢者施設、障害者施設、市役所、保健所等で求められ、歯科衛生士の4年生大学(今年2校新設)も増加し、教員への道も広がっています。歯科衛生士の業務は、歯科予防処置、歯科診療補助、歯科保健指導で、レベルアップが求められ、昭和23年歯科衛生士法が制定された時は1年制でしたが、現在は3年制となっています。歯科衛生士の重要性が認識され、業務が拡大されている現状です。現在インターナショナル岡山歯科衛生専門学校(男女共学)は定員48名で、歯科衛生士に興味のある方はご連絡ください。また、岡山医療技術専門学校は理学療法学科80名、作業療法学科40名、医療福祉ビジネス学科40名です。

現在、私は歯科衛生専門学校に在職していますので、歯科衛生士についても簡単に説明します。歯科衛生士養成校は全国で約160校、岡山県では3校あります。私のような戦後ベビーブームに生まれた世代が65歳を超え、日本は超高齢社会に突入しました。高齢者が健康で長生きするには自分の口で食べる事が重要で、

最後に、ほつま歯会および会員、ひいては母校金光学園、歯科界の発展を祈念しつつ、「ほつま歯会」発会の報告とさせていただきます。

# やつなみ保護者会のページ

今回は、指導部・教養部・庶務部の代表の方に、それぞれの部の活動内容を紹介していただきました。

## 指導部

部長 梶房 小百合

指導部は今年度9名で活動していきま

す。主な活動としては 地区会の開催と岡山県広域特別補導にて街頭・列車補導等行っています。

地区会は 今年度も例年通り7月中旬の開催を予定しております。

1学期を終えて 心配なこと、改善したいこと、地区独自の問題等、学年を超えて話し合えたらと思っております。

ぜひ皆様の出席をお待ちしております。

街頭・列車補導では、下校時の電車に乗車しマナー指導を行ったり、金光駅前

及び駅周辺での指導・補導にあたっていきます。

今年度は新たに中1を対象に、講師を招きスマホを使用するにあたっての楽しさや怖さ等、学び上手な活用方法を習得して欲しいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

## 教養部

部長 安原 多賀子

教養部は、今年度8名で活動していき

ます。活動内容の主なものとしては、年3回発行される「やつなみ」保護者ページ作成・研修旅行の企画・各研修会への参加があります。



「やつなみ」では様々な行事について記事をお願いしております。「記事を書くならお任せ下さい！」という方いらっしゃいましたら是非、宜しく願います。自分の文章を「やつなみ」に残せるステキな記念になりますよ。

また、研修旅行は秋に行われますが、毎年いろいろな場所（昨年は大阪！）を訪れ、参加された方々は親睦を深められているようです。

研修旅行を楽しみにされている方もいらっしゃると思います。

その方々のご期待に添えるべく、今年も参加される方が楽しめるものになる様、教養部全員でしっかり検討していきたいと思っております。

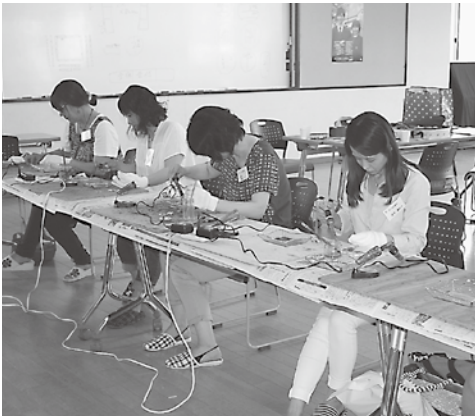
学年も違い、顔を合わせるのも初めてという方が多い教養部8名ですが、他の部の方々と共に1年間楽しく活動していきたいと思えます。

どうぞ宜しくお願い致します。

## 庶務部

部長 宮口 智子

庶務部は今年度27名の部員で活動をス



タートしました。

庶務部の活動は、湯茶接待（金光教大祭時に参拝される方々への湯茶の接待）ご奉仕です。参拝の方々からたくさんのおかけを頂き心が洗われる時間を過ごせました。9月の友愛セールへ向けての活動

（①）家庭、地域からの寄贈品、企業協賛、②講師の先生を招いての手作り体験講習会の開催、③友愛セールに出品する作品作りの手作り会開催。）ブログもご覧下さい。

③の手作り会は、庶務部員が中心となつて保護者の方々と一緒に様々な商品作りに取り組んでいきます。特に金光ベアは大人気で、数百体が短時間で完売するほどです。更に近年では金光ラビットちゃんも仲間入りしています。是非友愛セールで「金光学園との縁の記念」に！その他、部活マカロン、エコクラフト、布もの（小物、バック他）などです。

手芸、工作が得意・不得意関係なく、ご自分の出来る作業に楽しんで参加協力して下さいます。手作り会を通して、縦・横の保護者間交流が行われ、子供達、学園、地域の情報交換、または楽しく雑談をして過ごし、保護者間の絆が更に深まっていくように思えます。初めて参加の方も5分もすれば自然に打ち解けて、帰る頃には「また来ようかしら。」と、思っ頂ける手作り会にしていきたいと思っております。私達と一緒に、子供達に負けない金光学園の思い出を作っていきます。庶務一同お待ちしております。

今年度も皆様のご支援、ご協力よろしくお願ひ致します。



# 金光学園やつなみ保護者会 会長就任挨拶



金光学園やつなみ保護者会  
会長 小川 恭史

この度、平成27年度金光学園やつなみ保護者会会長を仰せつかりました小川と申します。日頃より、保護者会の活動に對しまして、深いご理解と、多大なるご協力をいただいておりますこと、改めて深く感謝申し上げます。歴史と伝統のある金光学園の保護者会会長という大役をお受けするにあたり、私で務まるのかという思いはありましたが、ご推薦いただいた方々の期待にお応えできるよう、微力ではありますが、一生懸命務めてまいります。皆様どうぞよろしくお願ひいたします。

金光学園は昨年120年という節目の年を迎えました。120記念館も竣工され、今年は新たな歴史へ向けての第一歩となる年です。これまでの歴史の中で、それぞれの時代の教職員の方々、生徒たち、保護者の方々が、いろいろな困難を乗り越えてきて、今の金光学園があり、やつなみ保護者会があるのだということをしつかりと認識し、今年もまた保護者会活動がスタートしてまいります。保護者の皆様方の引き続きましてのご協力、ご支援、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

昨今、犯罪の低年齢化、凶悪化が叫ばれており、昨年も川崎市で1男子生徒殺人事件など、痛ましい事件が発生しております。幸い金光学園ではこのような事件は起きていないし、起きる兆しも無いと考えております。これは、金光学園の合言葉であります「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」

の精神が諸先輩方のご努力により、しっかりと学園に根付いている証しだろーと思ひます。自分を大切に思うことで、他人への思いやりも生まれ、そしてすべてのことに感謝する気持ちを持つて、このことが日々実践できれば、このような犯罪の低年齢化、凶悪化のような状況からは無縁でいられると思ひます。伝統に培われたこの素晴らしい校風を、守り続けていくためにも、われわれ保護者も「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」の心を、もう一度見つめなおし、子どもたちとともに自ら実践していきましょう。

少子高齢化による生徒獲得競争の激化、私学助成金の問題、校舎の老朽化の問題等、学園だけでは解決が難しい問題も多々あります。今こそ、学園と保護者と生徒たちが一体となって活動していく時だと思ひます。

やつなみ保護者会の新しい1年が始まります。保護者の皆様ができるだけ楽しく、充実した活動ができるよう、力を尽くしてまいります。より一層のご協力をよろしくお願ひいたします。そして来年振り返ったときに楽しい1年だったといえるように！

## 「友愛セール」ご協力のお願ひ!

9月13日(日)開催

拝啓、保護者の皆様方におかれましては、日頃よりやつなみ保護者会の活動に、ご理解、また多大なるご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、今年もやつなみ保護者会主催の「友愛セール」をほつま祭2日目の9月13日(日)に開催させていただくこととなりました。今年も多くの保護者の皆様に、お忙しい中、家庭や地区ごとあるいは学園に足を運んでいただき作業していただく、「金光ペアちゃん」をはじめとする心のこもった手作り作品や、ご家庭では不要になっている貴重な品々、また同窓生の企業様、近隣の企業様からご協賛いただいた様々な品々を販売させていただきます。ぜひともたくさんお買い上げいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

この「友愛セール」で得られました収益は、子供たちがよりよい環境で学ぶための資金として活用させていただいております。この資金で昨年は高校全クラスの机と椅子を入れ替えさせていただきました。また、ほつま祭へ向けての準備活動自体が、たとえば手作りの作製や講習会などを通して、保護者同士の絆が深まる場ともなっています。そして保護者の皆様が、一生懸命子供たちのために働く姿を見せることも非常に大切な教育の一環になっていると思ひます。

ぜひともこの友愛セールの趣旨をご理解いただき、一人でも多くの方のご参加、ご協力をお願い申し上げます。

敬 具

金光学園やつなみ保護者  
会長 小川恭史

## 平成27年度 やつなみ保護者会 地区会

No.	地区	日時	会場	出席教員
1	岡山以东	7/11(土) 14:30~	岡山県生涯教育センター	安田 小畑 吉森 岡崎
2	倉敷第1	7/4(土) 18:30~20:30	ライフパーク倉敷	岡辺子 垣内 妹尾 久保田
3	倉敷第2	6/27(土) 14:00~16:00	倉敷市民会館第4会議室	岡辺男 鳥越 内田 天野
4	倉敷第3	7/11(土) 14:00~16:00	倉敷市民会館第4会議室	守分 中村歩 土井 榊平
5	玉島東	7/12(日) 10:00~12:00	玉島市民交流センター第1会議室	谷野 宰相裕 平田 堤
6	玉島西 黒崎	7/12(日) 10:00~12:00	玉島市民交流センター第4会議室	原田 道廣 小橋
7	富田 長尾 船穂 真備	7/19(日) 10:00~12:00	玉島市民交流センター	服部 平川
8	竹 八重 占見 占見新田 地頭下	7/11(土) 13:30~15:30	ほつま記念ホール(中ホール)	小野 有馬 吉永
9	大谷	7/8(水) 19:00~21:00	大谷消防機庫 2F	鈴木 佐藤 径
10	須恵 佐方	7/4(土) 19:00~20:30	佐方コミュニティハウス	定金 園田
11	鴨 方	7/8(水) 19:00~	浅口市中央公民館第3会議室	山本澄 水岡 高田
12	六条院	7/10(金) 19:00~21:00	浅口市中央公民館第3和室	山本幸 水野
13	寄 島	7/3(金) 19:00~	浅口市ふれあい交流館サンパレア	宰相夕 藤原
14	里 庄	7/11(土) 19:00~21:00	里庄町教育委員会2階 講義室	山下 友田 高司
15	笠岡東	7/11(土) 19:00~20:30	サンライフ笠岡	田中 村山
16	笠岡西	7/11(土) 19:00~21:00	笠岡中央ふれあい会館	平岡 亀山
17	笠岡北	7/6(月) 19:00~21:00	北川公民館	長谷川 森下 平賀
18	井 原	7/4(土) 18:30~20:30	アクティブライフ井原	森谷 中村耕 石井
19	福山第一	7/17(金) 19:00~	福山市生涯学習プラザ(ローズコム内)	坂口 籠崎 小池
20	福山第二	7/11(土) 19:00~21:00	福山市市民参画センター5階会議室	石田 塚田 久繁 瀬戸
21	福山第三	7/18(土) 19:00~21:00	福山市人権交流センター	藤井 細川 山口
22	福山第四A	7/4(土) 19:00~21:00	緑丘公民館	岡田 佐藤洋 滝澤 佐伯
23	福山第四B	7/12(日) 10:00~11:30	はるか あいプラザ	西山 成田 亀山
24	福山第五	7/12(日) 13:30~	福山北部市民センター(第1学習室)	内村 久野 角南
25	松 永	7/5(日) 9:00~12:00	西武市民センター3階第1会議室	山路 戸田
26	尾道・三原以西	7/16(木) 19:00~	テアトロ・シェルネ	中島 大西
27	止 宿	アンケートにより個別に相談	個別に相談	新谷 井上

## 活躍おめでとう

### 第18回全国高等学校少林寺拳法選抜大会

高3 中野 真聡



僕は3月21日、22日に香川県で行われた、第18回全国高等学校少林寺拳法選抜大会に出場しました。前回出場した時、決勝に出場できず悔しかったのでより一層気合を入れて頑張りました。前回より緊張せず、リラックスして演武することができ、自分の力をすべて出せることができました。その結果、決勝に出場するという一つの目標を達成することができました。

決勝では、前の人の演武の迫力に圧倒され、少し動揺しましたが、予選と同様

にリラックスして演武をすることができました。結果は13位でした。前回より良い結果で嬉しかったのですが、もっと上位に入りたいと思いました。

次の大会に向けて、日々の練習では人一倍努力し、もう1つの目標である上位入賞ができるように頑張っていきたいです。

### 第24回トリグラフィトロフィー国際大会に出場して

中2 木科 雄登

4月15日から19日までスロベニアで行われた「トリグラフィトロフィー国際大会」に、日本代表として出場しました。初めての海外試合は、長い旅から始まり、4月14日に岡山空港を出発し、羽田とフランクフルトを経由してスロベニアに到着しました。不安やドキドキよりも、日本代表として海外試合に出場できるうれしさの方が強く、ワクワクした気持ち



ちで旅立ちました。JAPANチームには羽田空港で合流したのですが、日本スケート連盟の方のお話で、少し気が引き締まりました。現地では時差ボケになることもなく、練習、試合と臨むことができました。結果として1位になることができ、初めての海外試合は楽しくて良い思い出になりました。今年からはジュニアに入り、グランプリシリーズやユースオリンピックに出場できる年齢になります。まずは、来週に控えた選考会で、自分の良い部分をアピールできるようにがんばりたいと思っています。また、応援して下さる周りの方々、そして家族に感謝の気持ちを忘れず、日々、努力していきたいと思っています。これからも応援よろしくお願いします。

### 第8回声楽アンサンブルコンテスト全国大会

高3 菅野 真那

中1の頃からずっと全国大会に出たくても出ることができなくて悔しい思いを何度もしてきました。最後のアンサンブルコンテストでようやく、自分の目標にたどり着くことができました。今考えて



みると、具体的に自分が本当に夢見ていたことがなかった、という経験は私にとって初めてのことで。特別な舞台上で好きな歌を大好きなメンバーと歌えたことを誇りに思います。



今回、全国大会で福島という場所に初めて行きました。福島と言えば、東日本大震災のイメージが強く、はじめは行くのが少し怖かったです。3日目の震災学習で南相馬市へバスを走らせたとき、窓から見える景色は私の想像を超えていました。家の1階部分がなくなっていたり、人が町に全くいなかったり…。もう震災から4年もたつのに、町はとてもさみしい雰囲気をまとっています。しかし、仮設住宅を訪問し、私は福島に来てよかったと心から思いました。私たちの歌声を聴いて皆さんが笑顔を浮かべ、曲が終わるたびに、上手だね、など優しい言

葉をたくさんかけてくださいました。福島の方からリクエストされていたピリッブを歌った時、涙を流して聞いてくださり、私はいろんな思いで、胸がいっぱいになりました。私は大震災の時に薬剤師の人手が足りず、多くの人が困ったという報道を見てから、人の役に立ちたい、薬剤師になりたいと決心しました。福島の方にあつてから、自分が抱えていた悩みも本当に小さなことに思えて、前を向いて頑張ろうという気持ちになることができました。今回、全国大会出場で福島に来られたことはとてもうれしいのですが、それ以上に貴重な経験をさせて頂いたと思っています。福島に来ることができて本当によかったです。お世話になったすべての人に感謝します。ありがとうございます。

### 第39回全日本競歩能美大会に参加して

中3 清水 美沙

私は3月15日に石川県能美市で開催された全日本競歩能美大会に出場しました。今まで競歩の試合に参加したことはありませんでしたが、100人以上の人が参加する大きな大会に参加するのは初めてで、と



でも緊張しました。

試合当日、ピストルの音が大きく鳴り、皆が一斉にスタートしました。私は先頭の方で歩き始めましたが、体ががちがちで1kmあたりでファウルを出されてしまいました。私はこれまでの試合の中で、ファウルを出されたことは初めてだったので、焦ってしまい、もっと動きが固くなってしまう。そのせいか、またファウルを出されました。競歩では、ファウルを3回出されれば失格になってしまうので、私は歩形を直そうとしてスピードが落ちてしまいました。

結果は6位で自己ベストのタイムではありましたが、改善していかねばならないことや、反省すべき点もたくさん見えてきました。無駄な力



を入れて楽しく美しいフォームで歩くためには、やはりたくさん距離を歩くことや、指導して下さる先生のアドバイスを大事にしていくことが大切だと思います。

私の姉も競歩という競技をしています。私は姉の影響で競歩を始めました。私にとって尊敬すべき人であり、いつか追い越したい人でもあります。私はそんな大先輩を抜かすような選手になりたいと思います。そして私をいつも支えて下さる先生方や家族、友達に心から感謝し、日々努力していこうと思います。

### 第29回全国東西交流中学生

バレーボール大会に出場してみよう

中3 宮本 晃平

僕たちは、3月26日から28日までの3日間で開催された第29回全国東西交流中学生バレーボール大会に中四国代表として出場しました。初日は、全国から会場に到着したチームから練習ゲームを行い、事前の力試しを行いました。その結果を受けて夕刻に予選リーグの組み合わせがありました。予選リーグは5チームによる総当たり戦です。全国のチームと

対戦しましたが、僕たちは調子も良く全勝の一位通過することが出来ました。また、ゲームを通じて課題の残る予選リーグでもありました。翌3日目、予選リーグを突破したチームによる決勝1次リーグは3チームによる総当たり戦で1位のみが準々決勝へ進める過酷な試合でした。先ず、神奈川県を代表する東海大相模中学校と対戦し勝利しましたが、続く全国大会常連校でもある東京のサレジオ学園中学校と対戦しました。流石に全日本Jr.を要するだけあって攻撃力は凄まじいものがありました。善戦したのですが、力及ばず勝利することはできませんでした。この大会に出場して僕たちは全国のレベルの高さを身を持って知ることができました。また、僕たちに欠けていたことが沢山あることも知ることができました。この第29回全国東西交流中学生バレーボール大会に出場できたのは、僕たちの先輩方が戦績は勿論、中学生とし



ての立派な行動が評価されてのことだと大会会長の方から伺い、この経験を無駄にしないよう日々気を引き締めて、中学生として行動しないと駄目だと思ふようになりました。最後に遠方にも関わらず、応援に来てくれた保護者の方々や先生、先輩方に感謝の気持ちを忘れずに日々精進したいと思います。これからもご指導、ご声援よろしくお願いします。

### 中国大会を終えて

高3 岡元 太一

5月9～10日に、広島県広島市で中国大会が開催されました。僕たちは、一回戦、山口県の高川学園と対戦し、セットカウント0-2で敗退しました。僕は、小・中・高の12年間バレーボールを続けてきました。その間には、いろいろと辛いこともありましたが、最後の中国大会を終えた今、やり遂げたという達成感を感じています。結果は残念なものとなりましたが、ここまで、ご指導いただいた亀山先生をはじめ、諸先生方、先輩・バレー部の仲間、そして応援してくださいました。ありがとうございます。

# イギリス短期語学研修

3月19日~4月3日  
イギリス・ロンドン近郊

中学生・高校生の生徒19名と引率教員2名(滝澤・久保田)が、16日間のイギリス短期語学研修に参加しました。ロンドン近郊のエンフィールドとプロックスボルンという町でホームステイをしながら、授業や現地の学校訪問、ロンドンやケンブリッジ観光など、生徒たちは目を輝かせながら、その多彩なプログラムを満喫しました。当初は、慣れない英語に戸惑っていました。しかし、日に日にリスニング力、スピーキング力を身に付け、お別れパーティーでは、ホストファミリーや先生との別れを惜しむ場面も見られました。「まだイギリスに居たい」「イギリスに住みたい」といった感想も聞かれ、生徒にとってかけがえのない経験となりました。

## イギリスでの経験

高1 才野 隼

念願のイギリス研修に参加することを決めてから、ベン先生やニック先生と事前学習をし、普段の英語の授業とは少し違った日常英語を覚えてもらい、渡英するに当たって一緒に行く仲間たちと一歩ずつ前進していくのを感じていた。そんな時、イスラム国の脅威を感じるニュースが続々と報道されてきて、今海外に出

るのは得策なのか、一瞬考えさせられたが、ここで行かなくては一生後悔しそうな気がし、そのまま突き進むことにした。逆にこのような世界情勢の中で、イギリスはどのような厳戒態勢がしかれているのか、自分の目で感じてみるのも良いのでは、とも思った。

經由先のドバイ空港は、懸念していたほどのこともなく、厳重なセキュリティチェックを受けたくらいで、今までに見たことのない派手さに、むしろ心浮かれ

ションや会話をして楽しんだ。

そして一生に一度はしておきたかったロンドン観光。見るものすべてのスケールが大きく、ビックベン・大英博物館・バッキンガム宮殿・ウェストミンスター寺院など、テレビの画面で見ているものが目の前にあることに心躍らさずにはいられなかった。一生に一度では全く足りなかった。

ファミリーとの会話や授業など、様々な活動の中で、相手が言っていることが随分とわかるようになっていて自分が感じる事ができた一方、それに返す言葉として、どう言い回したら良いのかが瞬時に判断できなくて、もどかしい思いをたくさんした。これからの課題は、そこを克服するためのスピーキング力を養う努力をすることだと再認識した。

後から聞くと、僕らのホストファミリーは他のどの家よりも好条件だったようで、何のトラブルもなく無事帰国できたことも含め、何とラッキーだったのだろうか」と痛感した。

僕はまだまだ色々な国を訪れてみたいという野望がある。そのために、自分の弱点を限りなくゼロに近づけるべく、高

校生活において日々精進して行けたらと考えている。

## イギリス体験を通じて

高1 小出 尚寛

僕は直前までイギリスに行くという事にたいする実感が全くありませんでした。学園を出発し、1日近く飛行機に乗り、イギリスのヒースロー空港に着いて初めて外国に来たという感じが分かりました。そのような気持ちのまま、スタディセンターでオリエンテーションを受け、ホストファミリーと会いました。会ったすぐのうちは、ただただホストファミリーが話しかけてくることにYesやNoで答えるだけでした。週末になると、ホストファミリーは僕たちにスパーや公園の行き方、スタディセンターまでのバスの乗り方など、様々な事柄を教えてくれました。僕たちのホストファミリーは仕事で忙しく、休日に遊びに行くことや、家族全員で過ごすという事は難しかったけれど、ホストファミリーは僕たちに楽しく過ごす方法をたくさん提案してくれました。週末を過ぎ、学校が始まり、一日一日と日数を重ねるにつれ、僕たちは

てしまったくらいだった。

イギリスに到着し、いよいよホストファミリーとの対面。中学生の受け入れ4家族のうち、最後に引き渡された僕たちは、実に素晴らしい家族と出会った。しよっぱいながら、美味しい料理を振る舞ってもらい感激だった。滞在中に2回あった休日も、色々なところに連れて行ってくれ、洗濯も週に2回もしてもらえるなど至れり尽くせりだった。しかも洗剤の香りも心を癒してくれる。我が家で味わったことのない幸せを感じた。おまけに何と、温水プールのついた庭で、おねだりして泳がせてもらったのだ。

現地の授業では、イギリスの歴史や文化を当然の如くオーリイニングリッシュでレクチャーされ、それを必死で理解することに努めた。現地の中高生との交流もあり、一緒にレクリエー



だんだんとYesやNo以外の言葉を使ってみようと思いました。

ホームステイ期間中に僕たちは数え切れない程のことを学びました。海外で生活するということは、思ったよりも大変で、心も身体も疲れてしまうようなこともありました。日本と比べ、身の回りの事を全て完璧かつ時間に間に合うようにしたり、治安があまり良くないために警戒したりと、するべき事は日本の何倍もありました。しかし、そのような環境下でも、ホストファミリーとの距離は日に日に近くなり、ホストファミリーの質問も僕自身の意見を訪ねるようなものになっていきました。ケンブリッジ見学やロンドン観光では、今までずっとテレビなどでしか見ることができなかった有名な建物を自分の目で見る事が出来て、とてもうれしく思いました。見える景色の全てが日本とは違うヨーロッパならではの古く歴史ある建物と緑ととても興味深かったです。

最後の行事だったお別れパーティーでは、少しのトラブルはあったものの、パーティーを終えて心から、「イギリスに来て良かった」と思えるようになりまし



た。思い返すと、この日までにたくさん  
の困難があり、その度に疲れてしまつた  
り、少し悩んでしまつたりしました。し  
かし、それらの経験が全て、そのお別  
れパーティーの満足感となり、今回の研  
修自体をより一層色濃いものにしたのだ  
と  
思っています。

この2週間で起こったことや、初日に  
感じたことを思い出し、懐かしく感じ  
ると同時に、明日でホストファミリーと  
別れなければならないことが悲しく、悔  
しい気持ちでいっぱいでした。その後、  
家に帰ると、すべての事が最後に思え、  
思い残しないようにと、一つ一つの動  
作に気を配りました。翌朝、ホストファ  
ミリーに別れを告げた後、この研修で  
得たたくさんのお話を今後忘れないよ  
うにしようと思えました。たった、10  
数日で、言葉も違う人たちとこのよ  
うに思い出せることが出来たというこ  
とは、とても不思議なことだと思え  
ます。改めて思いました。また、今ま  
で日本に当たり前になっていた事のあ  
りがたさを身を持って感じ、自分で身  
の回りを管理するということが出来  
ました。

最後に、研修でホストファミリーや先  
生から教わったことを踏まえ、日本でも  
日々の生活の便利さや家族の大切さを  
忘れないようにしたいと思います。この  
研修で、僕はまるで家族が2つあるよ  
うでした。本当に、良い体験が出来て  
良かったです。



# グラス韓国遠征

今春3月30日から4月2日にかけて、音楽部吹奏楽団は平成21年10月に春川女子高等学校と姉妹校縁組みをして以来、5年ぶりとなる2度目の訪問演奏で交流を行った。海外への訪問演奏は今回で通算8回目となった。普段日本でおこなっている演奏会とは雰囲気も異なっており、熱狂的な声援の中でステージを終え、一生の思い出に残るような貴重な時間を過ごすことが出来た。

## 「韓国訪問」

高2 渡辺 奈南子

韓国に行き一番印象に残ったことは、訪問演奏だ。最初は演奏中どんな反応があるのだろうと不安に思っていたが、春川女子高等学校に到着したときにその不安はすぐになくなった。春川女子高等学校の生徒の皆さんは、私たちが到着して

すぐに手を振ってくれたり、挨拶をしてくれたりととても積極的で、私たちの方が圧倒されてしまった。演奏中は溢れんばかりの歓声にとっても楽しくなり、ずっと笑顔で演奏できて気持ちよかったです。そのあとの交流会でも、上手く話せるか不安だったが、私の言葉で分からない所があったら、わざわざ聞きにいらしてくれて、とても親身になって話をしてくれました。

昨年の11月に、先生から韓国訪問のことを聞いたときは本当に心配で、幹部学年として役割を全うできるか分からなかったけれど、無事全員で帰国で来て本当に良かったと思う。韓国で経験してきたことを活かして、日々の生活で実践していきたい。

## 「ありがとう」の言葉

高3 福井 智里

今回の韓国訪問演奏で一番感じたのは、感謝することの大切さ、ありがとうの言葉の大切さだ。

韓国訪問の説明会の時に、後援会の方々から寄付金のお話をしていた。後援会の方々の資金面をはじめ、多くの支援を頂いた。もし、私達を応援して下さる方々がいなければ、今回の訪問はなかったと思う。

韓国では春川女子高等学校の中軽米先生をはじめ、春川女子高等学校の先生方、裕川高等学校の先生方に大変お世話になった。特に中軽米先生は、私達全員分の名札を用意して下さい、春川女子高等学校に到着した日から、ソウルに移動する日の朝まで、私たちのホテルに



てくださったり、大変お世話になった。日本語が通じない韓国で、一番使った言葉は「カムサハムニダ」だった。

ある日、バスの運転手さんと、キャリーバッグを積んでいた時に、「カムサハムニダ」の言い方を教えていただいた。班で買い物に行ったり、挨拶をするとき、お世話になったとき、一番使える魔法の言葉が「カムサハムニダ」。ありがとうだと感じた。

今回の訪問演奏に携わって下さったすべての方に感謝している。本当にありがとうございました。



# 高1 一日旅行



1組でよかった

1組 吉原 光

チリンチリンと私の筆箱についている叶える卵は動かすたびに綺麗な音を響かせる。その音は私自身を「やらなければ」と奮い立たせてくれる音になった。この一日旅行で、クラスの親睦を深める以外にも自分にとって良い事があった。それは、自分自身のモチベーションを上げることができたことだ。千光寺というお寺でたくさん人の絵馬を見た。色々な人の夢やお願ひ事を見ているとやる気が出てきた。そして、私は願ひが叶うお守りを買った。卵の形をしていて中に自分の願ひ事を書いた紙を入れることができる。そこに私は行きたい大学名を書いて入れ



た。お守りについては鈴が鳴る度に「頑張れ」と言われているように感じる。お守りに頼るだけではなく、自分の努力を惜しまないように、このクラスでしっかりと頑張っていきたい。

一日旅行を終えて

4組 名村 理瑚



今日の一日旅行を終え、感じたことと学んだことがたくさんありました。クラスが新しくなり、不安を抱え、色々な人と仲良くなれるか心配でしたが、皆と一緒にバス旅行に行って、同じ食べ物を食べることが本当に楽しく、時間があつという間に過ぎました。クラスで行う最初の行事で、良いスタートが切れたので、これからの行事がますます楽しみにまりました。写真を撮ったり、焼きそばを作ったり、今まで関わることのなかった人と話し合うのも良い思い出になりました。

蒜山を選んで、良かったと思いました。自然と触れ合うことができ、有意義な時間を過ごすことができ、高校生活の良いスタートが切れました。この仲の良さをもっと深めて、様々な行事を頑張りたいと思いました。

一日旅行に行つて

5組 浪越 素子

クラスでの一日旅行は、ドイツの森へ行った。以前私は一度訪れたことがあったのだが、「その時はオカリナの絵付けをしたなあ」と思い返しているうちに、すぐにドイツの森に着いてしまっ

ことではあるが、当たり前すぎてそれを見つけないことをしなくなたのは、何時の事だろうか。例えば、実行委員だった人達。多くの人が、実行委員として働いてくれた。一人ひとりが、責任を持って行動していた。皆をまとめてくれた人、企画してくれた人、皆に話しかけていた人、それぞれ得手不得手があり、お互いがお互いを補い合っている。このクラスで過ごせることが、とても楽しみになった一日であった。



地図から消えた島で学んだ宝物

6組 眞田 昌和

学校行事として初めて行われた一日旅行。天候にも恵まれ、新たな友情が芽生えた。僕達6組は、地図から消えた島である大久野島へ行った。そこは自然が豊

かで、うさぎの楽園であった。かつて大久野島は戦時中に毒ガス工場として栄えた島である。島には戦争の爪痕がたくさんあり、歴史に触れることもなぜ地図から島が消されたのかということもわかった。

しかし、そのような歴史とともに、友情という宝物を手に入れた。バスの中ではクラスみんなで思いきり盛り上がり、一人一人が笑いあい最高の時間を過ごした。今日学んだ歴史や友情は、かけがえない宝物だ。歴史を肌で感じ、友情を心で学んだ。この1年間、6組で数多くの宝物を作っていきたいと思った。



に気付いた。それは、皆それぞれ違うところが必ずあるという当たり前の



# 中学生になって



## 一生付き合える仲間を作りたい

3組 内藤 英吾

新しい制服にネクタイ、初めて身につける物にとまどいながらも、僕は金光学園へ行くのをすごく楽しみにしていた。金光学園では、ほつま祭や体育会など、公立の中学校とは比べものにならないくらい行事がたくさんあり、部も多く、6

年間すごく楽しめそうな学校だと思っていた。入学式で校長先生が言われていた「人をたいせつに、自分をたいせつに、物をたいせつに」という合言葉を守り、勉強や部活動を通して自分のクラスの人はもちろん他のクラスの人も仲良くなり、一緒に勉強したり遊んだりして、金光学園を卒業してもずっと笑い合えるような仲間をつくりたい。

もちろん友達づくりや行事、部活動も大事だが、まずは勉強をしっかりと頑張らないといけない。苦手科目の国語を得意に変えるため、今までに習った漢字や覚えるものなどを全て復習したい。中学で教わることは小学校で学んだことを利用するので、家庭での勉強も忘れずに行い、宿題や提出物にきちんと取り組みたい。

僕のこの1年の目標は、楽しい時はとことん楽しみ、きちんとしないとイケない時はきちんとすること。けじめのある行動をしたいと思う。

## やりたいことがたくさんある

4組 保田 向陽

僕が、中学生になってやりたいことはたくさんある。まずは、友達をたくさん

作りたい。小学生のころは1クラス17人でみんな仲良しだったが、金光学園では1クラスに37人、1学年に184人もいるので、自分のクラスだけでなく、他のクラスの人たちとも友達になりたい。

2つ目は部活動。僕は小学生のころからスポーツ少年団で野球を頑張ってきた。金光学園の先輩たちが全国大会に出場した時の新聞を見て、「すごくかっこ



いいな」と思った。僕も、先輩たちのようになりたいと思うので、野球部に入り部活に一生けんめい取り組みたい。

3つ目に、勉強を頑張りたい。特に、得意な数学と苦手な国語を頑張りたい。数学は計算をもっと速く、正確にできるようにになりたい。国語では漢字を頑張りたい。小学生のころから、漢字の「とめ」や「はらい」などができていなかったのに、中学校で学ぶ漢字は完璧にしたい。

他には、みんなの役に立つことに積極的に取り組み、金光学園をもっと良い学校にしていきたい。金光学園のあい言葉である「人をたいせつに、自分をたいせつに、物をたいせつに」を胸に一つ一つ頑張る、金光学園での生活をより良いものにしていきたいと思う。

## 「看板」をしっかり背負って

5組 延平 茉姫

私には、中学生になって頑張りたいことが3つあります。

1つ目はあいさつです。校長先生のお話で、あいさつをがんばってほしいというお言葉がありました。あいさつをする、された方もうれしくなると

思います。私も、金光学園に入学してきた友達からあいさつをされた時、うれしかったです。だからと言って、あいさつを友達だけにするのはなく、登下校中に会う人々にもあいさつをしたいです。

2つ目は、人の話をよく聞くことです。

小学生の時、先生が授業で話したことを聞いたつもりで聞いていなかったり、自分が質問したのに返答をちゃんと聞いていなかったりといったことがよくありました。小学生の時はそれでもなんとかなっていましたが、中学生になると、そうはいきません。勉強が難しくなるため、授業で話をきちんと聞いていなければ、ついていけなくなってしまいますし、それが続けばテストの時に困ります。だから、人の話はよく聞いて、しっかりと勉強しようと思います。

3つ目は、金光学園の看板を背負うことです。金光学園は、合言葉である「人をたいせつに、自分をたいせつに、物をたいせつに」という合言葉を大切にしています。この合言葉は、学校の中だけでなく、学園の外でも守るべきだと思います。金光学園の生徒は、どこにいても「金光学園」の生徒です。もし、学外で悪いことをすれば、それは「金光学園」が悪いことになります。このことをよく考えて、金光学園の看板をしっかりと背負って、中学校生活を楽しくしていきたいです。



# 新入生歓迎会

ウキウキワクワク学園生活

1組 久門 祐月

「パチパチパチパチ」。拍手と同時に、私はほつま体育館に入っていました。私がとても楽しみにしていた、新入生歓迎会が始まりました。

私は、歓迎会は「しーん」とした中で行われるのだと思っていましたが、部活動の紹介を見ている時は、先輩方が優しく語りかけてくれたり、面白い演出をしてくれたり、楽しくて、たくさん笑うことができました。かつらをかぶり、曲に合わせて踊っている部もありました。どの部活もとても興味深く紹介してくれましたが、特に、男子のバスケットボール部が、見ていてとても楽しかったです。剣道部も迫力があって、「すごい」という一言しか出てきませんでした。私の心に一番残ったのは、ダンス部と美術部です。ダンスがとてもかっこよくて、あこがれました。美術部では、みんなで1つの作品を作り上げていて、素敵だなとワ

クワクワしました。一日入部が楽しかったです。

今日の会は、面白くて、楽しかったです。

どの先輩方もキラキラしていて、あんなふうになりました。今と違って、中2の先輩が言っていた「金光学園に来てよかった」と、入学以降、私も毎日思っていました。今日も心の底から、本当によかったと思いました。これからの学園生活を、ウキウキワクワクしながら、ではめめはずさないように、先輩方を目指してがんばります。



## 迫力のある先輩方

3組 高橋 南成子

新入生歓迎会、ついにこの日がやってきました。私自身、最初にある行事のためだからなのか、とても楽しみにしていました。まずは、音楽部吹奏楽団の先輩方が演奏してくださる音楽に合わせて入場しました。先輩方の拍手は大きく、盛大に迎えてくださるので、毎回とても緊張してしまいます。私達1年生からは、先輩方に「あいさつ」を届けました。お

世話になる先輩方を目の前にすると、思いがこもり、それまでで一番大きな声で発表できました。一番楽しみにしていた部活動紹介



では、どの部も一人一人が一生懸命に取り組む、私達のために色々と考えてくださっていて、驚きました。入りたい部が増え、ますます迷ってしまいます。どの部に入っても練習を頑張り、先輩方についていけるように努力したいです。

私が題に挙げている「迫力のある先輩方」とは、特に最後にあった3年生の出し物を見ての感想です。楽しい劇やきれいな歌声を披露してもらい、学年やクラスの間、団結力に圧倒されました。たくさん先輩方の姿を見て、改めて、この6年間の学園生活を充実した日々にしたと思います。多くの人に支えられているので、自分ができる事にたくさんチャレンジしていきたいです。お手本となる先輩方を数多く見られる、すばらしい会で

## 先輩方の優しさに心が温かくなった

5組 藤井 みなみ

私たちのために新入生歓迎会を行っていただき、感じたこと思ったことがたくさんあります。最初に感じたことは、ひなだんの大きさや飾りつけ等のことです。先生から事前に、「本当に大きくて

びっくりしますよ」と聞いていましたが、その時はあまり実感がわきませんでした。しかし、実際に自分の目で見て座ってみると、先生の言われた通り、本当にすごかったです。また、飾りなどが天井につるされていて、クラスごとのカラーを使った旗もかけてあったので、ひなだんも含めて迫力があり、びっくりしました。

もう1つは、先輩方の優しさと団結力です。私たち1年生が花飾りを胸につけるのに困っていると、2人の先輩が優しく教えてくださったり、つけるのを手伝ってくださったりしました。その時、私はとても心が温かくなりました。また、先輩方は学年の出し物で歌を歌ってくださいました。歌は音程が合っていて、呼びかけも声が大きくて、先輩方の思いが伝わってきました。私も先輩方の様に学年のみなど団結し、184人で、一つ一つ成し遂げていきたいと強く思いました。

新入生歓迎会では、様々な部活動のことも知ることができました。とても嬉しく、心に残る行事となりました。





# 中1 入校時合宿

## クラスの絆を

1組 山本 楓夏

入校時合宿で一番印象に残ったのは、夜の集いだ。第一部では、班で協力して問題を解いた。第二部は、1部とは雰囲気がかなり違った。キャンドルの火が一人一人の心の様に明るくきれいにともり、小体育館がその光に包まれた。私たち1組の火は「笑顔の火」という名前だった。どんな時でも笑顔が絶えないクラスにしたいという気持ちが進められた。

夜の集いだけでなく、たくさん入校時合宿を盛り上げてくれた実行委員の人たちに感謝したい。私たちがこの合宿を最高の思い出にできたのは、実行委員のおかげだと思う。本当にありがとうございました。

入校時合宿を終えて、それ以前の自分やクラスを、合宿後の様子と比べてみた。たくさん違いを感じたが、一番の差は「クラス全員の絆」だと思う。私たちの絆は、はるかに大きくなった。その大きくなった絆を、今以上にさらに大きくしたい。

ていきたい。そして中学1年生が終わる時に、みんなが別れをさびしく感じるほど深い絆になっていればいいと思う。

## みんなで団結できた

2組 赤澤 美空

入校時合宿では、クラスのみんなや中1のみんなと団結することができた。学年全体で団結できたと思った瞬間は、キャンドルサービスだ。1つの火から5つの火へ、その後、全員にちゃんと火が広がっていった。大いに盛り上がった1部とは異なり、静かな中でキャンドルサービスを行うことができて、成功してよかったと思う。

## クラスで一番

団結できたのは、集団ゲームの「長縄」だ。2組のみんな



町内クリーンオリエンテーリングは、班のみんながばらばらになってしまったが、ちゃんと頑張つてゴミを拾えたり、最後は班員全員で学校に着けたのでよかった。

学園歌コンクールに向けて何回も練習したが、本番も楽しく歌うことができたし、金光学園の校歌も覚えられてよかった。他のクラスの発表を見る時も、ちゃんと黙って聞くことを意識できていたのでよかった。

私がおもって改善しようと思ったのは、5分前集合をした後でみんなに並び方を伝えることだ。2日目は、何回か伝えることができたが、時間に遅れることも何

度があったので、そこを改善していきたいと思う。これから行事がある時には、5分前行動をして人に伝えられるように、常に移動教室の時などに頑張りたいと思った。

2日間をみんなと共に過ごし、団結して全日程を終わらせることができてよかったし、楽しかった。今まで話したことがなかった人にも自分から話しかけることができ、みんなと仲良くなれてよかった。

## 「パズルの火」1人でも欠けたら4組じゃない

4組 小原 千晴

入学してから2週間が経ち、クラスにもだいぶ慣れ、友達も多くできてきたころ、楽しみにしていた入校時合宿が行われた。朝から教室の中はざわざわして



合宿がますます楽しみになった。私が入校時合宿で心に残ったことは4つある。

1つ目は学園歌コンクール。今まで練習してきた成果を発表した。本当は歌う時にゆれることになっていたのだが、忘れてしまっていた。しかし、そのおかげで歌に力が入り、明るい歌声となり、最優秀賞を取ることができたのだと思う。

2つ目はキャンドルサービスだ。始めはみんなテンションが高かったが、消灯した途端に静かになった。私たち4組の火の名前は「パズルの火」。パズルは1つでも欠けたら完成しない。そんな願いが込められていた。順に火が灯っていくのを見て感動した。

3つ目は、集団ゲーム。最初に新聞大陸ゲームがあった。班のみんな協力しあい、狭い紙面にいかに工夫して乗るかの技術が必要で苦戦したが、とても楽しかった。次に5色綱引きがあった。クラスみんなで引張って、より団結力が高まった気がする。最後の長縄では、タイムニングをつかむのが難しく、2組が「6回」という記録を出したことに驚いた。4つ目は表彰だ。4組は4枚の賞状を



## 中3 沖縄修学旅行



### 命どう宝

1組 金光 美千世

私は、4日間、沖縄でたくさんのお話を聞いて、色々な話を聞いて、すごく考えさせられた。

まず、平和学習では、大城さんのお話や資料館見学、ガマを通して、とにかく戦争の恐ろしさを知った。生きたいと思っ

あんな真つ暗の中、行き場を失いどんなに辛くて苦しかっただろうと思う。

中でも、私が特に怖かったのは、泣く子を殺す話だ。大城さんは、ある壕では4歳以下の子供を集めて毒殺したと言われていた。ただその時代に生まれたというだけで、毒を飲まされたり、首をしめられたり……同じ人間がそんなことをしていたなんて信じられない。本当に戦争で、人間が人間でなくなるのだと思った。また、資料館の写真はどれもリアルで、私は、あまりにも残酷な人生の最期を見ていられなかった。「命どう宝」命こそ宝。大切な命を、もう二度と粗末にしないように、次の世代に伝えていって、守っていかうと思った。

また、私は4日間のうち2日、海に行くことができた。とてもここで殺し合いがあったとは思えないような真つ青で澄んだきれいな海だった。グラスボートでは、自然にいる色とりどりの魚やサンゴも見ることができ、沖縄の海はいいなあ、と思った。

1日目のエイサー鑑賞ではグランプリをたくさん取って、殿堂入りされたような方たちで、すごい迫力とびったり合っ



ている息に釘付けになった。こうやって、若い人達も頑張つて練習して、沖縄の文化は受け継がれていくんだなと思った。その他にも国際通りの自主研修や美ら海水族館、エメラルドビーチなどで友達とたくさん笑って、楽しい思い出がいっぱいでき、それがとても嬉しかった。

こうやって、沖縄で楽しめたのも、平和について学ぶことができたのも、そもそも修学旅行に行けたのも、戦時中には考えられなかったことであって、私たちはとても幸せに暮らしていることに改めて気づかされた。感謝を忘れないようにしないとといけないと思った。そして、戦争で亡くなった方々が大切な命を落としてまで教えて下さった「戦争の恐ろしさ」を忘れないようにしようと思った。

### 修学旅行で学んだこと

2組 渡邊 七海

私は、3泊4日の沖縄修学旅行を通して、学習したことが3つあります。

1つ目は戦争と現代についてです。1日目の大城さんのお話を聞いて私は、事前学習でも感じた戦争の悲惨さとむごさを改めて、より強く感じました。今の世



の中では考えられないようなことが起こり、わずか70年前の同じ国の出来事として直視することができませんでした。

私は、話を聞いてもう1つ感じたことがあります。それは、私たちが、戦争体験者がいる今、その方々の貴重なお話をしっかりと聞いて戦争についてよく理解しなければならぬということです。そして、学んだことを10年後、20年後、戦争体験者がいなくなった時代に後の世代までしっかりと伝えなければなりません。もう二度と、戦争を起こさないとにも、悲惨さ、むごさをきちんと伝える必要があると思います。そのためにも、今回の修学旅行で見たり聞いたたりしたことを生かして、戦争についてもっと理解したいと思います。

2つ目は、協力することの大切さです。3泊4日の集団生活の中で、仲間と集団行動をしたり、協力したりする場面がたくさんありました。仲間がいたから修学旅行を有意義なものにすることができました。1人でも欠けてしまったら、有意義なものとするのはできなかつたと思います。旅行中、困った時に手を差し伸べてくれたのは友達でした。旅行中以外、





日常生活でもたくさん助けてもらいました。そんなかけがえのない大切な仲間感謝し、また、助けてもらえばかりでなく自分も友達のように当たり前に人を助けられる人間になりたいです。

3つ目は、出会うことの楽しさと寂しさです。旅行中、私はたくさんものや人々に出会うことができました。バスの運転手さんや、親切なバスガイドさん、私たちのためにこの旅行を計画し、運営して下さったJTBの方々、その他にもたくさんの人々に出会い、お世話になりました。出会ったばかりの時は、楽しさや嬉しさばかりだったけれど、那覇空港でバスの方やJTBの方と別れるときは、別れる寂しさでいっぱいでした。そんな楽しさと悲しさを引き起こす「出会い」というのはとても素敵だと思います。これからは、たくさんの人に出会い、そして別れると思います。その出会いと別れのの一つ一つを大切にしたいです。

修学旅行は私にとって一生の思い出です。その思い出をずっと大切にして、毎日を過ごしていきたいです。

### 修学旅行で学んだこと

3組 岡本 圭織

私はこの修学旅行でいろんなことを学びました。

沖縄戦について大城さんから話を聞き、平和の大切さを改めて感じました。戦争は、日本の政府が勝手に始めたのに、沖縄の住民は戦争に巻き込まれ、最後は日本軍により住民が殺されたり、壕を追い出されたりしてしまいました。壕を追い出された住民は、無防備で外に出て、毎日家族が減っていったという話を聞いて、大切なものを失う悲しみを感じました。

「生きたくても、生きられない」「生きることより死ぬことを選べ」野戦病院に残された人達は、弾を配られて自殺したり、毒入りのミルクやご飯を食べさせられたりしたと聞きました。目の前に、弾や毒入りのミルクやご飯が置かれ、生きる希望を失った人達がたくさんいて、簡単に命が捨てられていく。人の命が軽んじられて、どんどん命がなくなっていく……「戦争では、人間は動物以下になる」まさにその通りだと思います。大城さんの話はとても衝撃的でした。

だなと思いました。エメラルドビーチで少しだけ泳ぎました。服がびしょ濡れになったけど、とても気持ち良かったです。

### 沖縄修学旅行

4組 藤岡 幹久

僕は、この沖縄修学旅行で心に残っていることが2つあります。1つは沖縄戦のこと、2つ目は団体行動をすることです。

1つ目の沖縄戦のことは、バスガイドさんや大城藤六さんのお話や平和記念資料館、平和の礎でのことが特に心に残っています。実際に現地でお話を聞くことは今までの調べ学習とは違い、とてもわかりやすく、かつ戦争のひびきを体験できるような緊張感がありました。また、沖縄の小学3年生の子が考えた詩はとても感心しました。ほんの小学3年生の子どもでも、こんなに戦争のことについて考えることができるんだなと思いました。そして、僕が一番見たかった平和の礎では、本当に僕の曾祖父の名前がありました。実際に見たり、写真を撮ったりしてみましたが、曾祖父に会ってみたい感じがしました。また僕以外の人もこうし



平和の礎には、沖縄戦で亡くなったたくさんの方々の名前が刻まれています。名前が刻まれた石を見ながら歩いてみると、その名前の数の多さにショックを受けました。たくさんの方々の名前があったけれど、その名前一つ一つにそれぞれの人生があり、戦争が多くの方々の人生を奪ったのだと思うと、とても悲しくなりました。なかには、後から見つかった人の名前が刻まれた石もあり、さらには、まだ見つからない遺骨もたくさんあると聞きました。それほどまでに激しい戦いだったのかと思いました。

平和学習で再び戦争のことを学び、戦争の悲惨さと平和の大切さを感じました。今こうして生きているのは、とても幸せなことだと知りました。これから、一日一日を大切に過ごしていきたいです。

沖縄には戦争という過去がある一方で、美しい海「美ら海」が広がっています。白い砂浜に青い海がともきれいでした。青い海に青い空、その青い海でグラスボートに乗ると、海の中で優雅に泳いでいる魚を見ることができました。水が透き通っていて、沖縄の海はきれ



て沖縄に来て、この平和の礎にある亡くなった方々の名前を見たら、人はどう思うんだろうと思いました。たぶん、ほとんどの人が悲しむと思いました。実際、僕も悲しかったです。けれど、この平和の礎があっても良かったです。戦争に行つたのに、生き延びたのか死んでしまったのか分からないことはつらいと思います。家族に戦争で亡くなった人がいる方々にとっては、とても大事なものだと思いました。

2つ目の団体行動をすることについては、みんなと一緒に行動することの楽しさを感じました。国際通りや美ら海水族館で計画を立て、グループ行動をすることはとても楽しかったです。また、美ら海水族館では、見知らぬ中学校の人に話しかけられ、一緒に魚たちを見たり、自己紹介をしたりして、とても仲良くなりました。今まで、僕は休みの日には、部活動の本番があったり、家の用事があったり、近くに駅がなかったりで、あまり友人と外出する機会がなかったもので、この体験はとても楽しかったです。

この沖縄修学旅行で、今まで体験したことがなかったことをたくさん体験しま



した。これからも、もっといろいろなことをして、たくさんさんの体験をしていきたいと思いました。

**青空と海と戦争と**  
5組 塩飽 しずく

青く輝いている青空。透き通っている海。想像以上の美しさに私は本当にここが70年前に沖縄戦がくり広げられた場所とは到底信じられなかった。飛行機に乗って2時間余り、到着すると沖縄の金光教の方々が旗を持って「はいさい沖縄、よく来たね」と温かく出迎えて下さった。ここで、ようやく沖縄に来たんだという実感がわいた。期待がふくらみ胸が躍った。しかし、1日目は沖縄戦の体験者でいらっしやる大城藤六さんのお話を聞いたり、魂魄の塔などに行つた。2日目は壕の中に入ったたりなど命について深く考えさせられる場面が多かった。自分の足下で爆弾が落ち、銃声が飛び交い亡くなった人がいると思うと恐怖で足がすくんだ。生きたい、もっと生きたいと願う人達がいるのに、現在はいじめや自殺など命を粗末にする行為が年々増加している。沖縄戦をなかつたことにせず、この

戦いを乗り越えた人達がいる、今の沖縄はこんなにも平和だと後生に伝え、透き通っている海を人間の手に他の色に染めないことが私達にできることだと教わった。

私は3泊4日の沖縄修学旅行でたくさ

んの事を学習することができた。平和の大切さ、命の大切さ、自然との共生の大切さなど本州では体験できない事を学び、その上で、楽しむことができたのは、自分にとって大きな収穫であり、これからの学園生活で役立てていきたい。

## 修学旅行短歌コンクール

【第一席】 二組 光畑 慶亮  
美ら海を 静かに流るる この時を  
ユズリハとなり 未来へつなぐ

【第二席】 一組 虫明 春哉  
旅の前 笑顔满面 僕の顔  
父母の顔 なぜかさみしげ

【第二席】 一組 豊田 知夏  
ガマの中 たれた葉が ほほつたう  
その冷たさは あの日の涙

【第二席】 五組 紺藤 舞子  
つかみ取れ 女子十人が 砂浜で  
ビーチフラッグ 青春の旗

【第三席】 四組 藤岡 幹久  
亡くなった  
曾祖父の名を 見てみると  
会ってないのに 会った気がした

【第三席】 五組 塩飽 しずく  
光消し 響く水音 真っ暗の  
壊出て気づく 平和の明かり



# 大佐山 中2 教育キャンプ



## 大佐山教育キャンプを終えて

1組 宮本 将成

僕は3日間のこのキャンプの中で、一日一日、それぞれ学んだことがある。まず、1日目では仲間との協力がどれだけ必要かということである。僕の班は、男子は火をおこしたり力仕事したりして、女子は野菜を切ったり、準備をしたりして役割分担ができていたと思う。そ

のおかげで用具返納を予定よりかなり早く終わらせることができたと思う。

2日目は山の過酷さで、バスで大山に着いた時、こんな山に登るのか……と、気が遠くなった。それでも小さく一歩を踏み出し、仲間と共に声をかけ合いながら山の頂上にたどり着くことができた。下山した時に、何人かの体調不良の人がでてきて、改めて山の過酷さを知った。それでも大山に挑戦した人全員が頂上で登りきり、大きなケガもなかったということはすごいと思う。

3日目は、野外活動でロッククライミングした時に、体の丈夫さが大事だと分かった。ロッククライミングのグループの中で、僕は得意な方ではなかったと思うけど、インストラクターの方にコツを教えてもらい、助手の先生と一緒に一つ一つの岩を攻略していくのがとても楽しかった。機会があれば、またやりたい。

この3日間のキャンプで体験したこととは、体験した人にしか分からないと思うので、すごく貴重な体験ができたと思う。1日目の夜、風が強くてキャンプファイヤーができなくなると、スタンツをしていないクラスがあるので、またいつか、

クラスのスタンツをやりたい。教育キャンプで学んだことは、これからの行事や普段の生活でも生かせるところは生かしていきたいと思う。

## 大佐山教育キャンプ

2組 中村 悠人

3日間の大佐山教育キャンプ。その中で僕はいくつかの印象に残ったことがある。



1つ目は、「飯盒炊爨」と「パーベキュー」だ。僕の班は、薪に火をつけるところがなかなかつかず、大量の木や新聞紙を入れるなどしてやっと着火したが、かなり苦戦した。その後の飯盒づくり、カレー作りは多少間違えたものの、何とか上手に作る事ができた。自分達で作ったものを食べたときには、とっても美味しくやりがいがあった。また今度ももう1回同じ班で作りたいなとも思った。

2つ目は、「大山登山」だ。僕は、キャンプの直前に足を怪我したために、歩きづらくなって、大山に登れないかもしれないと思っていた。そして当日、大山に登っているときはあまり痛くなかったが、途中からだんだんと痛みがきて、怪我を悪化させるだけだと思い、リタイアしようと思っていた。しかし、多くの人から「頑張れ!」という応援をもらい、ある人は僕のリュックを持ってくれた。さらに、頂上の景色が見たいという思いが、足の痛みよりも勝っていた。これらのことから僕は「絶対に頂上まで登ろう!」と決めた。その結果、頂上に登ることができた。頂上からは、日本海を

はじめ、境港、米子地区、鳥取砂丘、蒜山地区など色々な景色を見ることができた。下山するときも足は痛かったが、無事に帰ってくる事ができた。その後リタイアした人が1人もいなかったと聞いて、本当によく頑張ったなと思った。大山は、めつたに登ることのない山なので、今回の登山はとっても貴重な体験だった。

3つ目は、「野外活動」だ。僕はノル



ディックウオーキングをした。最初のころは、足の怪我也あったので、嫌だなど思っていた。しかし、やってみたら意外と楽しくて選んだかいがあったなと思った。大佐山の頂上までは行くことができなかったが、少し手前から景色を見ると、中国山地や大山までもがきれいに見えて、空気が気持ちよかった。

この3つ以外にも、キャンプファイヤーや天体観測などのいろいろなことが印象に残った。初めてのこともありいろいろ迷ったり、困ったりしたが、最終的にはどれも楽しくていい思い出になった。この3日間の大佐山教育キャンプは、一生忘れないほどのいい思い出となった。先生方やキャンプ場の方、登山ガイドの方、運転手の方など、僕たちを3日間安全に楽しく過ごせるようにしてくれた方々には感謝の気持ちでいっぱいだ。

## 大佐山キャンプ

3組 出口 綾菜

私たちは5月20日〜22日まで大佐山教育キャンプに行った。そこで学んだことが私には3つある。

1つ目は仲間を信じる心です。私たち

1班は初めから本当に協力がなかつた。事前学習では意見がぶつかり合い、なかなか決まらない事がほとんどだった。キャンプでのカレー作りもやはりすべてがバラバラだった。でも、バーベキューの時一枚の肉がとでもきれいに焼けた。私は信じてた。最後まで協力してくれるだろうと。すると、みんな一気に気合いを出してくれた。うちわではたく人、肉を裏返す人、なくなった炭を取



りに行く人。一人一人が一つになって感動した。

私はこの時、初めから協力性のある人たちがそろそろより、バラバラで、一つの何かをするごとにだんだんと一つになっていくメンバーはすごいと思った。だから、私は1班でよかったと心から思う。

2つ目は自然の厳しさだ。自然とは時に怖いものに変化する。それを体で感じることができた。1日目、あんなに晴れていたのに大風が吹き荒れた。夜もとても寒かった。3日目、一日中とても晴れた。熱中症の人も出た。この時、私は初めて自然とは美しいものばかりだと思っていたけど、怖いものもあるんだと感じた。

私はこのキャンプを通して、大人になつたと思う。これからも中2という自覚を持って生活していきたい。3日間本当に楽しかった。

3つ目は友達と助け合うことだ。大山に登るとき、友達がいてくれたから励ましてくれたから登ることができた。友達がいなくなったら、頂上には行けなかったと思う。そして、頂上についてからの喜びを一緒に分かち合える友達がいて本当に楽しかった。

### 教育キャンプで学んだこと

#### 5組 森永 慶之

僕はこの教育キャンプで学んだと思つたことが3つある。

1つ目は普段、電気や水、火などの当たり前前に使っている道具だが、僕はこの教育キャンプで電気や火などの明かりのありがたさ、水のありがたさを理解し考えることができた。そして普段当たり前だと思っていたことが、実は当たり前ではなく、とてもありがたく恵まれていることだという事に気付いた。

2つ目は自然に恵まれているということだ。この教育キャンプは、自然は厳しく、不便だと思つたこともあった。とくに大山では急に風が強くなったりした。しかし、普段の生活では体験できない自然のすごさや美しさを知ることができた。朝にはきれいな鳥の鳴き声や、昼は太陽の光で活気づく森、夜は美しい星空。どれも自然ならではのとても思い出に残る良い体験だった。

3つ目は、仲間にも恵まれていることに気付いたことだ。ほつま祭や体育会など、仲間との絆を深める行事はあったが、まだ金光学園に来て1年くらいだ。クラス

に良かったと思う。また、テント設営をする時も、一人じゃできなくてもみんなやれば大きなテントが作ることができた。私は助け合える友達をこれからもたくさん作っていきたい。

### 大佐山教育キャンプを終えて

#### 4組 黒川 麻衣子

私は、この大佐山教育キャンプを終えて大きく2つのことを学んだ。

1つ目は、「自然の厳しさ」だ。テントで生活すると聞いて、とてもわくわくしていたが、体験してみると、体温の調整が難しく、虫がたくさん入ってくるなど、普段の生活ではあまり考えられないことばかりだった。また、大山登山のときも、寒くなったり暑くなったりするので、本当に疲れてしまった。前まで、私たちは自然を軽く見ていたように思う。だから、このキャンプを通して、自然のなかでの生活はとても厳しいことが実感できた。

2つ目は、「友達の大切さ」だ。このキャンプでいつもよりもっと大切さを知ることができた。テント設営のとき、カレー作りのとき、本当に感謝することがた

さんあった。その中で一番大切だと感じたのは大山登山のときだ。私は、人一倍体力がないので、登る時も下る時も最後のほうで、みんなに迷惑をかけてしまった。ですが、友達は「頑張つて」や、「あと少し」など励ましてくれ、登り終えた後、「頑張つたね」や、「すごい」、「おつかれ」など、とても嬉しい言葉をかけてくれて、この後も頑張ろうという気持ちになった。その些細なことでもとても幸せな気分になり、友達がいて本当に良かったなと思つた。これからも大切にしていきたいと思う。

まだまだ、キャンプで学んだことはたくさんあるが、全てこれからの学園生活に生かしたい。そして、このキャンプで深めた友との絆を大切に、さらに深めていきたい。

また、引率の先生方やキャンプ場の方など、色々な方にお世話になった。これからの生活の中で、いつも応援して、支えてくださる人々がいることを決して忘れないようにしたいと思う。

長いようで短かった3日間を全員で乗り越えることができました。この調子で一年間を駆け抜けていきたいです。

も変わり、まだあまり話したこともない人と班になった人もいるかもしれない。しかし、キャンプでは一人ひとりがそれぞれ協力し、学年全員が団結できたと思う。だから、この2泊3日という教育キャンプを成功させ、全員が大山の頂上にたどり着くことができたのだと思う。

僕は教育キャンプで、普段の生活のありがたさ、自然のありがたさ、そして仲間のありがたさに気付くことができた。今年から僕達には後輩ができ、また一人の仲間が増え新たに学園生活がスタートした。これから

も僕はこの教育キャンプを忘れずに、193人の仲間と一緒に協力し合い、より良い学園生活にしていきたい。





# 探究

## 授業報告



### 中3探究

#### ○パターンブロック

中学3年生の全クラスで行われている探究授業です。表現力、読解力、チームワークの育成を目的に「パターンブロック」を実施し、グループで得点を競い合いました。

○ストロー斜塔  
現在、7月中旬に行われる「ストロー斜塔コンテスト」に向けて取り組んでいます。ストロー40本を組み立てて、最高100gまでのおもりに耐えられる斜



塔をグループで協力し、発想を出し合いながら試作を行っています。

#### ○探究講演会

K. I. T虎ノ門大学院の三谷宏治先生をお招きして、「決める力と伝える力の鍛え方」を教わりました。緊急状況において、何を取捨選択するのか、どのように優先順位を決めるのかという考え方を学ぶことができました。相手の考えを聞きながら自分が提案するグループワークを経験することで、論理的な議論の進め方も勉強できました。



### 高1探究

#### ○プレゼミ活動

3つのグループに分かれ、「文系ゼミ①新興国・発展途上国との多文化共生をめざして」というテーマに関する研究内容の探索、「文系ゼミ②地域（地方）のグローバル化にむけて私たちのできること」というテーマに関する研究内容の探索、「理系プレゼミ」で物理「落下した物体がどの程度跳ね返るか?」、化学「ピタミンCの量を調べよう!」、数学「ハノイの塔」の実習をそれぞれ順番に取り組みました。



た。相手の考えを聞きながら自分が提案するグループワークを経験することで、論理的な議論の進め方も勉強できました。

### 高2探究

#### ○探究Ⅱ

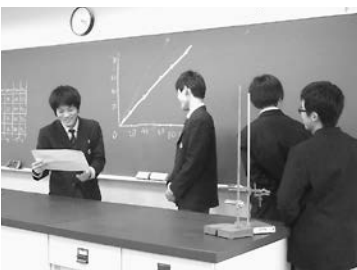
文系ゼミは昨年度に引き続き、水問題ゼミ・教育制度ゼミ・果樹栽培ゼミ・ジーンズゼミ・No.1岡山ゼミの5つのゼミで、それぞれで分担しながら研究を進めました。ゼミに

よっては、校外へ出張して専門家の貴重なアドバイスを頂いたようです。理系ゼミも

昨年度に引き続き、数学ゼミ・情報ゼミ・天文ゼミ・物理ゼミ・化学ゼミ・生物ゼミ

ミ・川ゼミ・スポーツ科学ゼミの8つのゼミで、グループ研究または個人研究に取り組みました。理系ゼミは6月4日（木）に、文系ゼミは7月9日（木）に中間発表会を行い、多くの大学の先生方などからアドバイスを頂きました。今後は、これらのアドバイスを元に大判ポスターやパワーポイントでのプレゼン資料、研究論文にまとめいきます。

#### ○探究講演会



K. I. T虎ノ門大学院の三谷宏治先生をお招きして、「決める力と伝える力の鍛え方」を教わりました。緊急状況において、何を取捨選択するのか、どのように優先順位を決めるのかという考え方を学ぶことができました。



# ある日のホームルーム



## 高校1年3組

6月13日(土)の4時間目、教育実習の最終日に1年3組にて3週間の教育実習を行った小松原悠希先生の送別会HRをほつま体育館にて実施しました。

まず、クラスを半々に分けてドッジボールに汗を流しました。女子は命を2つにするなど特別ルールを設け、和気あいあいの中にも真剣な眼差しで取り組む姿が随所に見られました。女子の中にも男子顔負けのプレーがありました。小松原先生も、「教室とはまた違った表情が見られ、よかったです」と語っています。8分ハーフの2セットの試合を実施しましたが、35対34の大接戦の白熱した試合でした。勝ったチームから準備していたジュニアを優先的に選び、休憩をした後、クラス全体に小松原先生を加えて38人39脚を行いました。並んで番号を述べ、偶



数の人が右足、奇数の人が左足を先に踏み出し、1・2のリズムで歩きましたが、簡単なようで歩調を合わせるのにはなかなか難しく感じました。その後、笑顔でクラス写真を撮影しました。

教室に戻りいよいよ小松原先生による最後の終礼のときを迎えました。前日の英単語テストの結果が返却され、今学期のクラスベストを記録し、小松原先生からも健闘を称える言葉があり、生徒たちも拍手でお互いを称えあうことができました。そして、とてもよい雰囲気の中、ついにクライマックスに突入です。先生が一通り連絡事項を終えた時、ちょうどタイミングよく小池先生が色紙と花束を届けに来てくれました。もちろん、生徒たちのサプライズ企画です。加えて、素敵な赤色のペンと先生の手荒れに気付い



た生徒が気を利かせたハンドクリームのプレゼントに教室は大きな拍手喝采に包まれ、先生は思わず感動の涙を流しました。その後、先生からの心温まる謝辞とともに、クラスの生徒一人ひとりにお手紙のプレゼントがあり、再会を誓って3週間の教育実習を成功裏に終えることができました。

担任としてこの3週間のクラスの様子をいつもとは違った客観的な角度で見させていただきましたが、明るく素直な子どもたちの心に小松原先生の何事に対しても明るく前向きな姿勢が響き、絶妙のハーモニーを奏でた素敵な3週間を目の当たりにすることができました。小松原先生、クラスの生徒たちにとって、もちろん担任である私にとって、関わったすべての人たちにとって幸せな時間だったと思います。ありがとうございました。





# オペラシアターこんにやく座 「ネズミの涙」

◆2015年5月28日(木) 於・ほつま体育館

## 劇の世界に引き込まれた

中1 岡田 敬生

この劇で最も心に残ったのは、何があってもあきらめずに楽しく生きてゆくことだ。劇に登場した夫婦は、2人の子どもが死んでしまっても楽しく生き続けた。悲しみにずっとひたるのではなく、悲しみを忘れ、楽しく生きる大切さを改めて実感した。

第1幕は、最初から面白かった。芸人がボケとツッコミをするようなスタート。おんぼろワゴン



を「金光病院から引っ張って来た」という言葉に、全国を回る公演の中で、特別なセリフを作ってくだ

さったことをありがたく感じた。しかし、そこから一変、戦争で家族がいなくなってしまう。こんなことが実際に起こったら、もう生きていけないと思った。

第2幕は、結婚というめでたい場面から始まった。演劇の場面では、三蔵法師の反応が悪かったり、無理やり劇をさせられる人がいたりして、この場面はとても面白かつ

た。しかしその後、娘も銃殺。夫婦と娘の夫の3人になってしまった。3人だけになると、劇もあまりできないし、とても寂しいと思う。

このミュージカルは、自分たちが演じる劇よりもすごく感情豊かで、実際にあったような演じ方で、とても驚いた。劇の世界に引き込まれるような感じがして、世界観がふくらんでいく気がした。ほつま祭で演劇をする時は、このような気持ちのこもった演技がしたい。

## 平和への一歩

中3 岡村菜々美

私はこの「ネズミの涙」という劇を見て、感じたことが三つあります。

一つ目は、戦争の恐ろしさを改めて感じたということです。小学校4年生の頃に広島原爆ドームに行ったり、修学旅行で沖縄に行き、沖縄戦について学び、戦争の恐ろしさ、愚かさを感じていました。今日も、この作品を見ているうちに、だんだんと戦争について今の世界が抱えている問題について考えさせられました。世界が抱えている問題はたくさんあると思いますが、関係のない人までも巻

き込む「戦争」が私が今、一番どうにかしなければならぬ問題だと思っています。チタンやリンのように、身勝手な人たちのために亡くなった方も現実にはたくさんいると思うので、このような作品が世界中の人に見てもらえると、少しは考えが変わる人もいるのではないかと思います。

二つ目は、私がコーラス部に入っていることもあり、役者さんたちの歌声がとても印象に残りました。滑舌がよくて聴きやすく、言葉の最後のビブラートがすごく良く響いていて、初めて本当のオペラ歌手の方々の歌声を聴いて勉強になりました。

三つ目は、演技のことです。私はまだ何の係になるかわかりませんが、ほつま祭で演劇をすると思います。小道具や照明を見ていると、その時や場面にぴったりで、重要だということがよく分かりました。また、役者さんの演技を見て「大きい声」「はっきり言う」「抑揚をつけて言う」など、こうしたらいいな。と思うことをたくさん見つけることができてよかったです。とてもいい経験になりました。

## 「芸術鑑賞会」

中2 宮口 史織

私はオペラというものは、少し見たことがあった。けれど、今日のオペラは前に見たのよりも迫力があり、とても分かりやすいものだった。

お兄さんが戦争に行くとき、お母さんが必死で止めるシーンでは私も少しうるつとした。それは、役者さんが上手な



のもあるけど、家族と過ごす幸せか、仲間を裏切らないかを選択するのはとても難しいのに、死ぬかもしれないのに仲間を裏切らない方に行くというストーリーにも感動した。そしてお兄さんが死んだとき、家族はお兄さんの死体を見て、とても悲しい気持ちになったと思ったが、家族は嘘をつかなければならなかったところが、とても可哀そうで、残酷だった。また、妹がニッケルを助けるために、ドブネズミに囲まれても太鼓をたたき続けるシーンは、とても妹が可哀そうだった。私は、今日の演劇を見て、戦争がおこす残酷さや、ひじが強く伝わってきた。そして戦争は嫌だなと思った。戦争は避けたいと思う。私はよく戦争のことで本を何度か読んだことがある。しかし、私はこのオペラを見て少し不思議に思った。それは、オペラの中の歌に「戦争は終わらない」という歌詞があったことだ。私は、戦争は終わったほうが良いのにと思っていたから少し不思議だった。役者さんの声は、マイクを使っているみたいになくともきれいだ。私もこんにやく座の皆さんのようにきれいに歌いたいと思った。

## 「一生懸命に生きる姿に感動」

高1 白神 ひかり

「こんなにやく座の皆さんは、凄く声がきれいでした。一人ひとり個性のある面白さがあり、観客に伝えたいことが、たくさん組み込まれていました。例えば、弱い者が陰で怯えているのに、その隣で強いものが威張っているという場面は、現代の人間社会と同じだと思いました。オ



ペラの中では、戦争の場面がメインですが、戦争だけでなく、いじめで悲しむ人がいることを伝えたかったのではないのでしょうか。強い者も弱い者も例外なく、みんな必死に生きている。戦争は終わることが無いかも知れない。泣いたり笑ったりしながら一生懸命生きるネズミの人生が生き生きと描かれていました。感動的な場面も、多々ありました。私にとって午後の時間は人との関わり方、生き方について考えさせられた時間でした。

## 「戦争のない世界」

高2 金田 実沙紀

正直言って驚きました。最初のつかみから、非常に私たちの世代向きなものになっており、本当におもしろかったです。どのネズミもキャラクターが立っていて、とても魅力的でした。マンガンやコバルトの台詞には、風刺が利いたものや数々のメタ発言が含まれており、最後まで楽しむことが出来ました。

戦争についても、いろいろと考えさせられるところがありました。このお話は、基本的には喜劇だと思うのですが、シリアスな場面があり、チタンやリンが亡く



なるシーンは暗い気持ちになりました。戦争は今も、この世界で続いているのです。ネズミたちが言っていたとおり、私たちがいくら祈ったところで世界から戦争はなくならないでしょう。しかし、だからこそ、これからのことを真剣に考えるべきときなのではないでしょうか。

## 「多くの涙が流れる戦争はいらない」

高3 若井 隆大

タイトルからは考えられないようなユーモアのある劇で、その中にきちんと伝えたいことが伝わってきて、おもしろかった。

最初からいなかったと思えば、悲しくも辛くも何ともないという言葉聞いて、そんな人生は寂しすぎると思った。

でも、貧しい国や戦争をしている国では、子供を労働力や兵力として利用しようとする産み、その子たちが死んでも何とも思わないという考えが、実際に世界各地にあり、命の大切さを改めて見直すことができた。そして今、日本が平和であることに感謝し、多くの涙が流れてしまふこととなる戦争は、これから絶対に起こしてはならないと思った。

## 「前を向いて強く生きていこう」

高3 鯉沼ゆみり

私達は、日本という平和な国で生活し、あくまでも戦争は過去のものであり、その過去のことさえも目を背けて生きています。テレビで放映されている戦争も、私達が住んでいる同じ地球で起きている

にもかかわらず、ひどい、かわいそうと言っただけで誰も何も関わろうとしないのが現実です。登場する生き物は人間ではなくネズミでしたが、内容は十分人間に通じるものがあると想います。強い者が上に立ち、権力を振りかざすことで弱い者は行き場を失い、正義さえも排除される。戦争をすることで、ご飯を食べる人がいる。一つの国として戦っている人も結局犠牲になる者は弱い者。そして、戦争が起こっているのはうそだと目をそむける私達。こんな世界に平和は訪れないと思います。

でも、私達はこの世界でしか生きていけないから、こんな悲惨な世界でも笑って、前を向いて、強く生きていこう。そんなメッセージが今日の公演には込められていたように思います。

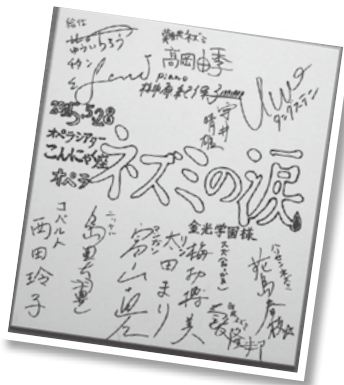
私達にとっては過去のことである戦争も、世界のどこかでは今も戦争が起きている。自分が平和に生活ができていないからといって、世界が平和なわけではないということをお忘れずに、生きていきたいと思えます。

## 「尊いネズミの命」

高3 延平 珠奈

私は、このネズミの涙を改めて実感しました。死ぬ必要の無い命が沢山失われていき、弱い者から順に殺されていく。残された家族は一瞬の感情に左右されれば、自分の命が危くなるため、ただ耐えることしかできないということをする、こく思い知らされました。

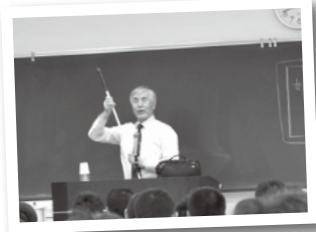
劇中の神様にお願ひする場面で、「米粒ほどのネズミの涙がこれ以上流れませんように」というセリフで劇の題名の意味が分かり、とても深いなと思いました。こんな暗い話でも笑いがあり、最後まで飽きることなく観ることができてとても良かったです。





高3人権講演  
人間の価値は  
「どれだけの人を助けたか」  
前岡山盲学校 竹内 昌彦先生

1組 浜井 玲奈  
私が竹内先生の話で特に印象に残ったことは、誰かが目の見えない、耳の聞こえない人生を引き受けてくれているということだと思います。私の家族も友達もみんな目も見えないし、耳も聞こえないし、五体満足に生きています。なので、今まで目が見えない人生など考えたこともありませんでした。でも話を聞いて少し恥ずかしさや申し訳なさを感じました。健康で元気であるというだけで、どんな可能性もあるということを感じました。だから、これから



だから、これから

らはどんなささいなことでも人生に関わる大きなことでも、まず死ぬ気でやってみようと思いました。また、私自身もこれからも目が見え続ける保障も耳が聞こえ続ける保障もないので、自分の体を大切にすると同時に竹内先生もおっしゃったように毎日を大切に生きようと思いました。竹内先生がとても気持ちを込めてお話ししてくださったので、とても心に響きました。聞いて良かったです。

2組 平床 昭憲

竹内先生のお話を聞いて、僕は親として強くて大きくてすごい存在なんだって思いました。それと同時に、自分の親がどんな気持ちでここまで育ててくれたのか、そんな親に今自分は何をしてあげられているかを考えていたら情けなくて涙が出てきました。一生懸命働いて高いお金を払って学園に來させてもらっているのに、好きなだけ遊んで、少しも勉強しない自分がとても情けなく感じました。また、こんなに健康で何不自由なく暮らせているのが当たり前なんかじゃなく、とても幸せなことで、感謝しなくてはならないと改めて感じました。僕は

将来、困っている人を助けてあげる仕事をするのが夢ですが、その夢を追っていきけるのもありがたいことと思って、親孝行もしっかりとできる立派な人間になりたいです。

3組 平松 里菜

先生のお話を聞いて、いろいろなものの考え方が変わりました。先生の心の強さは本当にうらやましい限りです。「勉強すればどんな道にでもいける」「今の世の中は、人のために何かするというのが印象的でした。今、高3で大学受験の勉強は立派な大人になるためにするものだから、今精一杯やって大学に入り自分のやりたい勉強をし、人のために何かできる立派な大人になりたいと思いました。今の自分の境遇を改めて幸せに思いました。自分のためにも人のためにも頑張りたいです。

4組 中塚 成美

私は先生のお話を聞くのは2回目でした。その中でも私が一番心に残っているのは「健康な体で努力することは自分の

選択を広げてくれる」ということです。私はいつもこのくらいいいやと自分で限界を決めつけてできそうなことだけやってきたと思います。自分の体は自分だけのものだと思い、産んでくれた両親に感謝することを忘れ勉強をおろそかにしてきました。でも体が不自由な人の中に幸せに生きようと頑張っている人がいると聞いて恥ずかしくなりました。健康な体に産んでくれた両親に対して感謝すること、自分を支えてくれる人に感謝する気持ちを大切にしながら、誰にもはじなくてよい、先生の言う立派な人になるために勉強をがんばろうと思います。

5組 小林 史佳

私にとって目に見えない世界は想像できないもので、ある日突然私の目が見えなくなると絶望的な気持ちになるに違いないと思います。だけど、竹内先生はたくさん過去に辛い思いをしたはずなのに、とつてもポジティブで元気な姿に驚き感じました。辛いと感じるときは今だけでその後は必ず楽しくなるといつていたけれど、その通りだと思いました。これからは受験に追われて辛い時期が来るだろうけど、がむしゃらに努力を続ければ、いつかは必ずその苦しみを乗り越えて幸せになれると信じ頑張ります。

7組 小澤 巧

さまざまな困難があった中で、それに負けたくないという思いで乗り切ってきたのは凄いなと思う。普段何気なくやっていることも、もし目が見えなくなったら、ほとんどのことに恐怖が出てくるだろうけれど、今まで自分の目が見えなくなったらということ想像したこと

もなかっただけに、もしそういう人がいれば絶対に助けないといけないと思っただ。竹内先生は、いじめられて死ぬことは親の生きがい無くすといっていたが、本当にその通りだと思う。親に支えられて生きていくということをしつかり自覚して、親孝行していきたい。

6組 荒島 拓馬

どんなに辛いこと悲しいことがあっても逃げ出さず、あきらめたりせず生きてきた竹内先生の人生に感動した。また人に優しく生きていくこと、誰かのためになることをしようとするこの意義に改めて気付かされた。盲目であるというハンディを背負っているのにもかかわらず一生懸命に生き抜いてきた竹内先生の強さを見習いたいと思った。もし障がい者の人で困っている人を見たら迷わず助



# 一日入学のお知らせ

7月26日(日)開催

今年も充実した楽しい内容で金光学園「一日入学」が行われます。ぜひ、お知り合いなどにご案内くださいます。ポスター、チラシがあります。お申し出いただければ、生徒便でお届けいたします。

**学校説明会**  
学校紹介と28年度入試についてご説明いたします。学校説明会①・②は同じ内容で行います。どちらかにご参加ください。中学生対象の説明会は、生徒・保護者の両方が対象です。

**探究クラス研究発表**  
探究クラス生徒による研究発表をプレゼンテーションで行います。中学生と小・中の保護者ならどなたでも参加できます。(途中での入退場もできます。)

## \*一日入学スケジュール

	小学生対象	4歳~小4対象	中学生対象
8:40~	受付 (ほつま体育館下)		
9:10~9:20	オープニングセレモニー (ほつま体育館)		
9:20~9:40	オリエンテーション		
9:55~10:45	楽しい授業体験	学校説明会① (保護者対象) 探究クラス研究発表	チャレンジコーナー
11:00~12:00	部活動体験 チャレンジ	学校説明会② (保護者対象) 探究クラス研究発表	キッズプレイコーナー
12:00~	個別相談コーナー (希望者のみ) 食堂体験 (希望者のみ、当日食堂を利用できます)		

※PTAによる、お茶サービスや「なんでも相談コーナー」もあります。

## [授業体験] AM9:55~AM10:45

チャレンジコーナーとキッズプレイコーナーのみ9:55~12:00

小 学 生 対 象	教科	内 容「タイトル」	対 象
	A 国 語	「正しい目玉焼きの食べ方」!?~作ってこんなにカンタン!~	小5~6年
B 社 会	お城の果てまでイッテQ!	小5~6年	
C 数 学	数学は「数楽」だ!	小5~6年	
D 理 科	音の正体をさぐれ!!	小5~6年	
E 英 語	ワクワク! English	小5~6年	
F 技 術	パソコンで作ろう ~楽しい書中見舞い!~	小5~6年	
G 美 術	マスキングテープで作るポストカード	小5~6年	
H 体 育	Let's play teeball!	小5~6年	
I チェレンジコーナ	楽しい工作にチャレンジ (途中退場できます)	小1~4年	
J キッズプレイコーナ	みんなで楽しく遊ぼう (途中退場できます) (お給がきやふうせん遊びなどで、楽しく遊べます)	4歳~小2年	

\*教科によっては定員に限りがあります。先着順で定員になり次第、第2希望となりますので、お早めにお申し込みください。

## [部活動体験] 11:00~12:00

- ①新聞部 ②天気気象部 ③生物部 (小学生のみ)
- ④電気科学部 ⑤書道部 ⑥茶道部
- ⑦音楽部吹奏楽団 ⑧音楽部コーラス ⑨放送部 ⑩科学部 (小学生のみ) ⑪美術部
- ⑫ラグビー部 (中学生のみ) ⑬ソフトウェア部
- ⑭卓球部 ⑮野球部 ⑯サッカー部 (小学生のみ) ⑰柔道部 ⑱剣道部 ⑲バスケットボール部 ⑳バレーボール部 ㉑少林寺拳法部 ㉒ダンス部 (小学生のみ) ㉓陸上競技部

- \*小学5・6年生と中学生が対象です。
- \*運動部は運動ができる服装で越越しください。(例:野球は長ズボン)~授業後の着替え場所はあります。
- \*道具箱=野球部は帽子・グローブ、スパイク・ユニフォームもあればご持参ください。卓球・バレー・バスケット・ダンスは、体育館シューズをご持参ください。テニス・卓球はラケット、サッカーはスパイク、剣道は剣道用具をお持ちでしたらご持参ください。書道は道具一式、紙をご持参ください。
- \*屋外スポーツは雨天の場合実施できないことがあります。また、上記以外の部活動は都合により出来ません。

中 学 生 対 象	K 国 語	映画で学ぶ民俗学~千と千尋の神隠し編~	中 学 生
	L 地 歴	農業マスター!! ~地理は暗記じゃない!~	
	M 数 学	伝説に挑戦~ハノイの塔~	
	N 生 物	緑葉に含まれる光合成色素を分離しよう	
	O 化 学	あなたも科学捜査官~指紋の不思議~	
	P 英 語	Listening to famous quotes and speeches.	

## [学校・入試説明会]

月 日	会 場	内容及び時間帯	申込
5月30日(出)	倉敷 ライフパーク 中ホール	学校説明会 (14:00~16:00)	不要
6月 6日(出)	福山 県民文化センター 文化交流室	学校説明会 (14:00~16:00)	不要
6月13日(出)	井原 地場産業振興センター 経営研修室	学校説明会 (14:00~16:00)	不要
6月13日(出)	岡山 ピュアリティまきび 中会議室	学校説明会 (14:00~16:00)	不要
6月20日(出)	金光学園 (授業公開)	授業公開 (8:45~ 自由参観) 学校説明会 (10:00~12:00)	不要
7月26日(日)	金光学園	オープンスクールPART I 「一日入学」下記参照	必要
9月19日(出)	倉敷 ライフパーク 中ホール		
9月26日(出)	井原 地場産業振興センター 経営研修室	入試説明会 (14:00~16:00) (個別相談会)	不要
10月3日(出)	福山 県民文化センター 文化交流室		
10月10日(出)	岡山 国際交流センター 3階研修室		
10月24日(出)	金光学園 ※地域会場 (模擬テストのみ) 岡山国際交流センター、県民文化センター福山	中学入試模擬テスト (9:00~12:30) 中学入試説明会 (13:30~15:00) 個別相談会 (15:00~16:00)	必要 不要 不要
11月1日(日)	金光学園 ※地域会場 (模擬テストのみ) 岡山国際交流センター、県民文化センター福山	高校入試模擬テスト (9:00~12:45) 高校入試説明会 (13:30~15:00) 個別相談会 (15:00~16:00)	必要 不要 不要
11月14日(出)	金光学園	入試説明・相談会 (14:00~16:00)	不要

## [オープンスクール PART I・II・III]

対象	行 事	日 時	場 所	内 容	申込
小 中	PART I 一日入学	7月26日(日) 8:40~12:00	金光学園	授業・部活動体験 学校・入試説明会 探究クラス研究発表 個別相談会	必要
小 中	PART II 文化祭見学	9月12・13日(土・日) 10:00~14:00	金光学園	見学とスタンプラリー 個別相談会	不要
小	PART III 中学体育会見学	10月3日(土) ※雨天順延 9:00~15:00	金光学園 グラウンド	参加種目もあります	不要

詳細は金光学園ホームページをご覧ください。

H28(2016)年度の中・高校募用の「学校案内」ができています。自由に配布できるように用意しています。ご協力いただける方は、ご連絡ください。

HPにも掲載していますので、ご覧ください。

<http://www.konkougakuen.net>



以上 よろしくお願いたします。



## 平成26年度 収支決算

金光学園やつなみ保護者会

### I. 一般会計

収入の部 (単位: 円)				
科目	予算額	決算額	差異	摘要
1 会費	5,095,200	5,095,200	0	月額 P@300、T@400
2 繰越金	2,259,795	2,259,795	0	
3 寄付金	20,000	20,000	0	大祭直会
4 雑収入	140,000	165,034	△ 25,034	預金利息、やつなみ増刷補助、笠岡補導センター補助、他
合計	7,514,995	7,540,029	△ 25,034	

支出の部				
科目	予算額	決算額	差異	摘要
1 指導部費	605,000	533,812	71,188	
A 地区会費	400,000	330,812	69,188	27 地区
B 生活指導費	5,000	3,000	2,000	広域補導
C 通信連絡費	200,000	200,000	0	家庭連絡電話料
2 教養部費	3,805,000	3,477,348	327,652	
A 機関誌費	2,800,000	2,431,360	368,640	やつなみ239号～241号
B 教養費	1,005,000	1,045,988	△ 40,988	
(1) 研修費	660,000	707,948	△ 47,948	総会講演・研修旅行、他
(2) 教養費	255,000	248,040	6,960	教養シリーズ
(3) 講習会費	90,000	90,000	0	やつなみサークル補助
3 庶務部費	2,449,720	1,746,652	703,068	
A 負担金	450,000	395,890	54,110	私中高父母の会負担金、他
B 名簿刊行費	279,720	279,720	0	学園名簿
C 慶弔費	500,000	235,300	264,700	卒業式、弔慰、饗別
D 会議費	220,000	159,973	60,027	総会、評議員会、役員会、食堂試食
E 旅費	150,000	74,930	75,070	私中高P連総会、大祭湯茶接待、他
F 事務費	150,000	88,063	61,937	諸消耗品代等
G 特別委員会費	600,000	446,907	153,093	全国・中国地区私中高父母の会等
H 雑費	100,000	65,869	34,131	文化祭プログラム、ポスター、他
4 予備費	655,275	0	655,275	
合計	7,514,995	5,757,812	1,757,183	

#### 1. 一般会計

収入総額	7,540,029
支出総額	5,757,812
差引剰余金	1,782,217 円

◎剰余金処分 一般会計剰余金 1,782,217円は、次年度一般会計に繰り越す。

### II. 特別会計

収入の部 (単位: 円)				
科目	予算額	決算額	差異	摘要
1 特別会費	10,567,200	10,567,200	0	月額 P@700
2 繰越金	526,480	526,480	0	
3 雑収入	0	4,748,823	△ 4,748,823	生徒会派遣費補助不足分借入
合計	11,093,680	15,842,503	△ 4,748,823	

支出の部				
科目	予算額	決算額	差異	摘要
1 教育後援費	11,093,680	15,842,503	△ 4,748,823	特別振興基金・共済掛金、事業独立会計への積立 生徒用PC・機、生徒会派遣費補助等

## 平成26年度決算の概要

学校法人金光学園

平成26年度の決算が、5月26日に開かれた法人評議員会ならびに理事会で承認されました。  
学校法人会計の計算書類は、資金繰りの状態を示す「資金収支計算書」、経営状態を示す「消費収支計算書」、財産状態を示す「貸借対照表」により表示し、私立学校法第47条及び学校法人会計基準第4号に定められた規則に基づき作成したものが、以下の「財務三表」です。

### 資金収支計算書

収入の部		支出の部	
科目	決算額	科目	決算額
学生生徒等納付金収入	564,127	人件費支出	813,859
手数料収入	6,321	教育研究経費支出	91,710
寄付金収入	125,269	管理経費支出	43,500
補助金収入	621,709	借入金等利息支出	2,684
資産運用収入	5,195	借入金等返済支出	204,480
事業収入	1,398	施設関係支出	302,697
雑収入	3,198	設備関係支出	23,546
借入金等収入	280,000	資産運用支出	45,099
前受金収入	48,530	その他の支出	50,738
その他の収入	210,089	資金支出調整勘定	△ 4,949
資金収入調整勘定	△ 288,838	次年度繰越支払資金	64,322
前年度繰越支払資金	60,688		
収入の部合計	1,637,686	支出の部合計	1,637,686

### 消費収支計算書

消費収入の部		消費支出の部	
科目	決算額	科目	決算額
学生生徒等納付金	564,127	人件費	839,424
手数料	6,321	教育研究経費	151,331
寄付金	125,314	管理経費	45,809
補助金	621,709	借入金等利息	2,684
資産運用収入	5,195	資産処分差額	1,405
事業収入	1,398		
雑収入	3,238		
		消費支出の部合計	1,040,653
帰属収入合計	1,327,302	当年度消費支出超過額	137,348
基本金組入額合計	△ 149,301	前年度繰越消費支出超過額	△ 1,610,043
消費収入の部合計	1,178,001	翌年度繰越消費支出超過額	△ 1,472,695

### 貸借対照表

資産の部		負債の部	
科目	本年度末	科目	本年度末
固定資産	1,997,741	固定負債	434,474
有形固定資産	1,842,861	流動負債	132,275
その他の固定資産	154,880	負債の部合計	567,199
流動資産	346,799	基本金の部合計	3,250,036
資産の部合計	2,344,540	消費収支差額の部	
		科目	本年度末
		翌年度繰越消費支出超過額	△ 1,472,695
		消費収支差額の部合計	△ 1,472,695
		科目	本年度末
		負債の部、基本金の部 及び消費収支差額の部合計	2,344,540

平成27年度 予算

金光学園やつなみ保護者会

I. 一般会計

収入の部 (単位:円)

科目	H27予算額	H26予算額	H26決算額	摘要
1 会費	5,031,600	5,095,200	5,095,200	月額 P@300、T@400
2 繰越金	1,782,217	2,259,795	2,259,795	
3 寄付金	20,000	20,000	20,000	大祭直会
4 雑収入	140,000	140,000	165,034	預金利息、やつなみ増刷補助、笠岡補導センター補助、他
合計	6,973,817	7,514,995	7,540,029	

支出の部

科目	H27予算額	H26予算額	H26決算額	摘要
1 指導部費	605,000	605,000	533,812	
A 地区会費	400,000	400,000	330,812	27地区
B 生活指導費	5,000	5,000	3,000	広域補導
C 通信連絡費	200,000	200,000	200,000	家庭連絡電話料
2 教養部費	3,470,000	3,805,000	3,477,348	
A 機関誌費	2,750,000	2,800,000	2,431,360	やつなみ242号～244号
B 教養費	720,000	1,005,000	1,045,988	
(1) 研修費	360,000	660,000	707,948	総会講演、研修旅行、他
(2) 教養費	255,000	255,000	248,040	教養シズ
(3) 講習会費	105,000	90,000	90,000	やつなみメール補助
3 庶務部費	2,335,400	2,449,720	1,746,652	
A 負担金	450,000	450,000	395,890	私中高父母の会負担金、他
B 名簿刊行費	275,400	279,720	279,720	学園名簿
C 慶弔費	500,000	500,000	235,300	卒業式、弔慰、饗別
D 会議費	210,000	220,000	159,973	総会、評議員会、役員会、食堂試食
E 旅費	150,000	150,000	74,930	私中高P連総会、大祭湯茶接待、他
F 事務費	150,000	150,000	88,063	諸消耗品代等
G 特別委員会費	500,000	600,000	446,907	全国・中国地区私中高父母の会等
H 雑費	100,000	100,000	65,869	文化祭プログラムポスター、他
4 予備費	563,417	655,275	0	
合計	6,973,817	7,514,995	5,757,812	

II. 特別会計

収入の部 (単位:円)

科目	H27予算額	H26予算額	H26決算額	摘要
1 特別会費	10,407,600	10,567,200	10,567,200	月額 @700
2 繰越金	0	526,480	526,480	
3 雑収入	0	0	4,748,823	生徒会派遣費補助不足分借入
合計	10,407,600	11,093,680	15,842,503	

支出の部

科目	H27予算額	H26予算額	H26決算額	摘要
1 教育後援費	10,407,600	11,093,680	15,842,503	※-7振興センター共済掛金、生徒用PC-機、生徒会派遣費補助、借入金返済、等

III. 事業積立会計

収入の部 (単位:円)

科目	H27予算額	H26予算額	H26決算額	摘要
1 積立金	0	5,000,000	5,000,000	
2 繰越金	0	12,000,000	12,000,000	
合計	0	17,000,000	17,000,000	

《教育後援費の内訳》

※日本スポーツ振興センター共済掛金	1,267,060 円
※高校図書室コピー機リース料	12,312 円
※補習手当補助	70,000 円
※私学ボランティア基金会費	13,540 円
※私学ボランティア基金特別会費	10,000 円
※高P連賠償責任補償制度加入掛金	378,000 円
※メールシステム利用料(H27年度分)	136,080 円
※生徒会派遣費補助	8,955,511 円
※事業積立会計への積立	5,000,000 円
	15,842,503 円

2. 特別会計

収入総額	15,842,503
支出総額	15,842,503
差引剰余金	0 円

◎剰余金処分 特別会計剰余金 0 円は、次年度特別会計に繰り越す。

III. 事業積立会計

収入の部 (単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
1 積立金	5,000,000	5,000,000	0	特別会計より
2 繰越金	12,000,000	12,000,000	0	
合計	17,000,000	17,000,000	0	

支出の部

科目	予算額	決算額	差異	摘要
1 事業費	17,000,000	17,000,000	0	事業積立会計への積立(特別会計より)

2. 特別会計

収入総額	17,000,000
支出総額	17,000,000
差引剰余金	0 円

◎剰余金処分 事業積立会計剰余金 0 円は、次年度事業積立会計に繰り越す。



# 会報

総会 5月2日(土) 1限 授業参観、

2限、学級会、3・4限、ほつま体育館において、27年度総会と記念講演会が行われた。総会では、各専門部からの会務報告の後、26年度会計決算が承認された。

その後、役員改選が行われ、会長に小川恭史氏、副会長に往田啓介氏、平松晃弘氏、松本万由美氏、安原敦子氏、監事に大本幸江氏、加賀直美氏が選任された。

記念講演の講師は、本校29回卒の、吉本総合芸能学院講師の本多正識氏であった。「おかげさま」と「おたがいさま」の演題で、日ごろ若手芸人に教えている内容を交えながら、人として大切なことがちゃんとできない人は、芸人としても大成しない。また、常識を知らない者は常識を打ち破ることはできない、など多くのことを楽しく講演してくださった。

第1回全役員会・評議員会 5月18日(月) 役員会開催に先立って食堂の試食

会を開き、約70名の方が参加された。その後アンケートに答えていただいたが、概ね好評であった。全役員会では、全役員と評議員の任務内容の確認の後、年間予定等について説明があった。

評議員会では、各専門部の役員決定後、各専門部の部長・副部長を選出。《指導部》

部長に梶房小百合氏、副部長に江草里衣子氏、《教養部》部長に安原多賀子氏、副部長に永田利子氏、《庶務部》部長に、宮口智子氏、副部長に吉岡浩子氏がそれぞれ選任された。

その後、活動方針が検討され、平成27年度予算案が提出され承認された。

第2回評議員会 6月9日(火) 研修会等の参加者決定、地区会開催について、友愛セールのについて、オープンスクールの協力について、各専門部の活動内容の検討等々について協議した。

諸会合

○5月9日 浅口里庄高P連総会 金光公民館(小川会長、金光校長)

○5月25日 備西地区高P連春季総会 岡山龍谷高校(小川会長、金光校長)

○6月1日 県中高保護者会連合会会長会議 おかやまメルパルク(中谷前会長、小川会長)

○6月3日 県青少年育成県民会議総会 岡山天神文化プラザ(佐藤副校長)

○6月18日 県高P連&安全互助会総会 ピュアリティまきび(往田副会長、金光校長)

○6月18日 浅口里庄P連母親委員会第1回研修会 金光公民館(安原副会長、大本監事)

○6月18日 県広域特別補導協議会笠岡支部総会 笠岡市教育委員会(松本副会長、佐藤副校長)

○6月24日 幼小中指導者人権教育研修会 浅口中央公民館(指導部 豊田・辻川・高田評議員)

○6月26日 玉島警察署管内子どもを守る母の会総会 玉島警察署(金子評議員)

○7月4日 社会を明るくする運動浅口推進大会 浅口市健康福祉センター(加賀監事、児島・品川評議員)

○7月7日 幼少中指導者研修会 ライフパーク倉敷(教養部 安原・田谷・坂野評議員)

○7月10日 中四国高P連岡山大会 岡山市民会館(小川会長、往田・平松・松本・安原副会長、大本・加賀監事、佐藤副校長)

## 平成27年度大学入試結果

合格者数(現浪合計)

平成27年4月現在

### 国立大学……………合計48

- 東京農工(1) 大阪(1)
- 神 戸(1) 奈良女子(1)
- 島 根(1) 岡 山(14)
- 広 島(4) 山 口(7)
- 徳 島(1) 香 川(6)
- 愛 媛(8) 高 知(1)
- 九 州(1) 鹿 児 島(1)

### 公立大学……………合計10

- 大阪府立(1) 兵庫県立(1)
- 岡山県立(2) 新見公立(1)
- 尾道市立(1) 広島市立(1)
- 福山市立(1) 高知工科(1)
- 北九州市立(1)

### 私立大学……………合計372

- 獨 協(1) 文 教(1)
- 千葉商科(1) 亜細亜(4)
- 学習院(1) 北 里(1)

- 慶 應(1) 國學院(1)
- 国士館(1) 芝浦工業(1)
- 成 城(2) 専 修(4)
- 創 価(1) 大 正(1)
- 多 摩(1) 玉 川(3)
- 中 央(8) 帝 京(9)
- 東京農業(2) 東京理科(1)
- 日 本(8) 法 政(2)
- 明 治(7) 明治学院(1)
- 明 星(1) 立 教(3)
- 和 光(1) 早稲田(4)
- 神奈川歯科(1) 関東学院(1)
- 洗足学園音楽(1) 帝京科学(1)
- 中 京(1) 南 山(1)
- 名 城(1) 皇 學 館(1)
- びわこ成蹊(1) 京都外国語(3)
- 京都産業(19) 京都女子(3)
- 京都精華(3) 京都橘(1)
- 京都薬科(1) 同志社(7)
- 同志社女子(2) 佛 教(3)
- 立 命 館(15) 龍 谷(17)
- 京都畿畿美術(1) 大阪芸術(1)
- 大阪工業(1) 大阪産業(3)
- 大阪体育(5) 大阪電気通信(1)
- 大阪薬科(4) 関 西(13)

- 関西外国語(4) 近 畿(26)
- 桃山学院(1) 関西福祉科学(2)
- 大阪人間科学(1) 大 和(1)
- 関西学院(13) 甲 南(2)
- 甲南女子(1) 神戸学院(8)
- 神戸芸術工科(1) 神戸国際(2)
- 神戸女学院(2) 神戸女子(1)
- 神戸薬科(2) 神戶松蔭女子(3)
- 武庫川女子(4) 関西福祉(4)
- 近大姫路(1) 岡山商科(1)
- 岡山理科(8) 川崎医療福祉(25)
- 吉備国際(7) 倉敷芸術科学(3)
- くらしき育陽(2) 山陽学園(1)
- 就 実(14) いしづか(13)
- 美 作(1) 環太平洋(8)
- 広島経済(2) 広島工業(3)
- 広島修道(5) 福 山(5)
- 安田女子(1) 広島国際(1)
- 徳島文理(3) 松 山(4)
- 九州産業(1) 宮崎国際(1)

### 省庁大学校……………合計2

- 水産大学校(1)
- 中国職能開発大学校(1)

### 私立短期大学……………合計3

- 近畿大短大(1)
- 川崎医療短大(2)

### 専修・専門学校等……………合計12

- 東京アニメ・声優専門(1)
- 東京アナウンス学院(1)
- 湘中央医療技術専門(1)
- 京都調理専門(1)
- 辻調理師専門(1)
- トヨタ神戸自動車大学校(1)
- 神戸ベルエール美容専門(1)
- 中国四国酪農大学校(1)
- 岡山科学技術専門(1)
- 岡山自動車大学校(1)
- 岡山理科大専門(1)
- 穴吹情報デザイン(1)

### 国公立短期大学……………合計2

- 倉敷市立短大(1)
- 新見公立短大(1)

### 就職……………合計1

- 就職……………合計1

# 生徒会活動

## 《中学生徒会》

4月16日に新入生歓迎会をほつま体育館で開催した。1年は新入生あいさつと呼びかけて元気に入学後の決意を示した。2年は手拍子と歌でエールを1年生に送った。3年は行事を紹介する演出で歓迎、最後に『キセキ』を歌った。恒例の部活動紹介では各部の工夫を凝らした勧誘に1年生は楽しみながら関心を寄せていた。

5月1・7日の一日入部では、1年生は各部を回り、多くの者が入部し、元気に活動している。5月は委員会活動や部活動委員会が始動し、今年度の活動方針や予算を作成した。事務局では総会に向けてクラス討議資料を作成し、評議員会に提出した。

各クラスで活発な討議が行われ、それを基に各種委員会で論議された。また、ほつま祭や体育会の実行委員会が発足された。

会議議長らはいずれも堂々とした態度で発表を行った。その他、9月に開催されるほつま祭や体育会に向けて、各クラス、実行委員会等で準備が始まっている。

## 《部活動》

**新聞部** 中学8名、高校7名の合計15名で活動中。4月に新人の先生紹介号、6月に教育実習生紹介号を発行した。

**天文気象部** 3月、大阪大学豊中キャンパスで行われた天文学会Jrセッションに6名の生徒が参加し、「流星」「木星とイオ」のテーマについて口頭・ポスター発表を行った。

6月、夜間観測を実施した。曇天であったが、新入部員5名を加えて望遠鏡操作の講習会を行った。昼間は太陽観測を行ったり、放課後は変光星アルゴルの解析作業などを行っている。

**生物部** 部員21名で今年度の活動をスタート。暹羅山に生息している動植物の種類や生態系のようすを日々観察している。

**科学部** 中学生は、竹炭入り石鹸作りに挑戦中。高校生は、指示薬の色のメカニズムについて学んでいる。

**茶道部** 3月22日に玉島市民交流センターで玉島高校茶道部と合同で「交流ひ

6月5日には生徒会総会が開かれた。今年度のスローガン『獅子奮迅』全力で走れ!!』です。『獅子奮迅』は物事に全力で取り組むといった意味です。どんな行事やスポーツ、勉強、何事にも全力で取り組み1年間を駆け抜けていこうといった想いをこのスローガンに込めました。自分でできることを探すことももちろん、生徒会活動を全力で取り組み、皆さんと共に当たりに取り組めるものを探していきたいでしょう。」と会長の陽翼君から説明され、基本方針と共に承認された。今年度の活動計画・予算・昨年度の決算が説明の後に承認された。準備・運営など評議員や事務局の動きは頼もしかった。

委員会でも積極的な活動を始めた。評議員会では障害者の福祉活動へ支援のため「愛の募金」に取り組み、総額6万9702円が集まった。保健委員会は健康観察簿の取り組みや風邪予防ポスターの作成、生活委員会では服装指導と挨拶運動に取り組み、図書委員会では本の紹介の通信発行や読書の呼びかけなどを行った。学習委員会では、全校漢字テストを第1回は6月15日に実施された。6月12日に予定されていた夏季球技大

な茶会」を行った。多くの方に来ていただき、生徒は緊張しながらも日頃の練習の成果を発揮した。4月には9人の中1新入部員が加わり、熱心に活動している。

**中・高書道部** 中学7名、高校13名で活動している。成田山競書大会では高1藤井基輔が特選、高3渡邊祥代、高2藤井一嘉、母里朱香音、高1濱岡千尋が金剛賞受賞。

**音楽部吹奏楽団** 2月15日(日)、選抜メンバーがドリームコンサートに出演、2月28日(土)卒業式では「ジャパニーズグラフィティIV弾厚作品集」を演奏した。3月29日(日)は、浅口市道路開通イベントに参加した。3月30日(月)4月2日(木)は3泊4日で韓国の春川女子高等学校、杵川高等学校と交流し、演奏会を行った。4月12日(日)はたんぼほまつりに出演し、「スカイハイ」[ZARD]レクシオン」等を演奏した。5月2日(土)のやつなみ保護者総会では「GUTS」[ZARD]レクシオン」を演奏した。5月5日(こどもの日)の第43回定期演奏会では倉敷市民会館で行い、「生命の奇跡」「ハリウッド万歳」「サウンダーボードは飛ぶ」「スピリテッド

会は雨天のため16日に延期され行われた。朝から小雨が降り続き、途中、雨足が強まり中断。再開の後、再び雨が強まり中止となったため、順位はつかなかった。残念ではあったが、生徒は存分に体を動かし、楽しんでいった。

## 《高校生徒会》

4月18日(土)、生徒会役員選挙が行われ、生徒会長に2年7組の細川典子さんが、副会長に2年6組の中島佑太郎くん、2年7組の山口璃菜さんがそれぞれ承認された。4月21日(火)には、晴天の下、高校3年生、2年生の春季球技大会が開催された。ソフトボール、ドッジボール、フットサル、テニールの4種目でそれぞれ熱戦が繰り広げられ、3年7組、2年5組が総合優勝を果たした。

4月29日(水)、中高三役・事務局合同交流会を実施した。中高の枠を越え、生徒会活動の中心を担う執行部として親睦を深めた。

5月22日(金)、第1回生徒会総会が行われた。今年度の基本方針や予算について審議され、すべて原案通りに承認された。運営は円滑に進み、舞台で発言した執行部、各種専門委員長、学年代表者

アウェイ」「乾杯」「勝利への賛歌」等、約20曲を演奏した。6月7日(日)は福山駅前のチャリティーミュージックライブに参加し「GUTS」[踊るポンポコリン]「ZARDレクシオン」を演奏した。6月13日(土)の金光ミュージックフェスタでは「SORAN」[神人の栄光]等を演奏した。翌日の14日(日)独立記念祭では「今日今日で一心にたのめ」「神人の栄光」[SORAN]を演奏した。

**音楽部コーラス** 2月8日(日)に早島町民総合会館「ゆるびの舎」で開催された第22回岡山県ヴォーカルアンサンブルコンテストに参加した。ジュニアの部に女声で4団体、高校の部に女声、男声、混声の3団体で挑戦した。以下、受賞した賞と曲目

【ジュニアの部】金賞「かりゅうど」、銀賞「そらまめ」「星月夜」「じょうりぎ」とうかにや」、銀賞「アイウエおはよう」「ヘラヘラの神様」、銅賞「ほったろこい」

【高校の部】金賞・優秀賞・グランプリ「糸繰」「一切朝花」、金賞「空と牧場のあひだから」、銅賞「ある時」「だんす」

なお、高校の部に女声で参加したグループは金賞を受賞のうえ、部門の1位



でもある優秀賞を受賞。あわせてジュニア、高校、重唱、一般の部を通して最も優れた団体におくられるグランプリを受賞し、3月に福島市で開催される第8回声楽アンサンブルコンテスト全国大会への出場を推薦された。

2月28日(土)に行われた高校卒業式の第2部祝宴に出演。

3月15日(日)に音楽室で卒部式を行う。

3月19日(木)～22日(日)に福島市で開催された、第8回声楽アンサンブルコンテスト全国大会に出場した。20日(金)に福島市音楽堂で高校の部が行われた。全国レベルの歌声に圧倒されながらも、笑顔を忘れず、金光学園らしい演奏をすることが最後までできた。結果は優良賞と本選には出場できなかったものの、これからつながるとても大切な時間を過ごせた。21日(土)は震災学習のため南相馬市を見学。その後、桑折町にある浪江町の方が避難されている仮設住宅で訪問演奏。22日には本選を聴き、そのレベルの高さに驚くとともに、自分たちのこれからやるべきこと、地元で応援してくれている他の部員達に伝えるべき

ことを実感し、福島遠征を終えた。

3月26日(木)～27日(金)に京都府城陽市で春合宿を行った。初日は作曲家の北川昇氏の指導を受ける。夜は交流のある西城陽高等学校合唱部の定期演奏会に行った。2日目は音楽家の田末勝志に指導していただいた。

4月12日(日)に金光公民館でたんぼまつりが開催されて、ステージ発表を行った。

5月30日(土)に校内で保護者会を開催した。

6月6日(土)に高梁総合文化会館で行われた高等学校合唱祭に参加した。午前は合同合唱の練習で岡山城東高校の森野先生の指揮で「こころようたえ」の練習。午後は合唱祭のステージを力いっぱい良い演奏ができた。また、中1の5人を含め10人の新入部員が初舞台を踏み、新たな活力を感じた。【曲目】「パイレーツオブカリビアン」「愛をからだに吹き込んで」「世界で一番暑い夏」

**文芸部** 新入部員3名(2年生1名、1年生2名)を迎え、総勢14名で今年度の活動をスタート。1、2年生を中心に毎月一度作品を発表し、互いに批評を行って

いる。5月には習作集「お伽噺を聞かせて」を制作し、全体で批評会を実施した。

**写真部** 新入部員5名を迎え、意欲的に活動している。6月13日(土)岡山県高校写真協議会主催の技術講習会に3名が参加した。写真に関する基本から実践まで指導いただき、大変有意義な時間を過ごすことができた。

**中放送部** 中1に1名を加え、現在8名で活動している。新入生歓迎会・生徒会総会・夏季球技大会では音響・司会を行った。また、6月13日(土)に岡山市立中央公民館で行われた、第32回NHK杯全国中学校放送コンテスト岡山県予選会に出場し、アナウンス部門で中2の山本幸歩、テレビ番組部門で「中学生、スマホと向き合う」が優秀賞を獲得し、全国大会への出場・出品が決まった。

**高放送部** 高1に2人を加え、現在7名で活動している。4月12日(日)、市民会館金光で開催された第18回たんぼまつりに参加した。司会・音響係として活躍した。さらに6月14日(日)に第62回岡山県高等学校放送コンテスト兼第62回NHK杯全国高校放送コンテスト岡山県予選の決勝大会が山陽女子高等学校で開催

された。テレビドキュメント部門に高校1年生が「脳科学で成績UP!」と題した番組を出品したが入賞には至らなかった。

**囲碁将棋部** 5月6日(水)に山陽新聞社会議室で開催された、第45回岡山県高等学校将棋選手権大会男子個人戦A組に参加した高2土屋昌希・高1原田理司両名は、ともに2勝1敗でベスト16。また、5月24日、倉敷市芸文館202会議室で開催された、第36回中学生選抜将棋選手権大会に中2湯浅廉・中1三宅一輝両名が参加し、健闘した。

**軽音楽部** 部員は現在27名。活動形態は週1回各バンドで練習している。5月29日に高3が、6月5日に高2が部内で発表会を行った。高1はほつま祭を目指して練習中。

**中美術部** 新入部員がどの学年からも入り、ほつま祭に向けてアイデアを出し合って考えている。ことしもグループ作品と個人作品を出品予定。

**高美術部** 5月30日、くらしき芸術科学大学で高校生美術コンクールが開催され、高2山本佳歩くさん、渡邊百香さんがイラスト・キャラクター部門で金賞を受賞、ポスター部門で、高2水畑絢賀さ

んが銀賞を受賞した。

**中陸上競技部** 第37回岡山県中学生混成競技記録会兼国体予選の男子走幅跳で六原侑哉が優勝、仁平優宙が2位。女子走幅跳で谷本きなりが2位、藤本もえが8位タイに入賞した。

岡山県中学校陸上競技選手権大会の女子砲丸投げで眞田明日香が2位、男子走幅跳で六原侑哉が3位、仁平優宙が決勝進出、男子400mで塚本航平が5位、女子走幅跳で谷本きなりが5位、藤本もえが決勝に進出した。

**高陸上競技部** 岡山県高等学校総合体育大会の男子ハンマー投げで若狭悠佑が2位、女子5000m競歩で清水沙紀が3位、女子400mハードルで大久保咲紀が4位、400mで6位、男子4×400mリレーで加賀拓磨・眞田剛寛・渡邊智哉・田邊詢が4位、男子3000m障害で田頭操真が5位、男子400mで眞田剛寛が5位に入賞した。

**高ラグビー部** 4月4日(土)に行われた中国高等学校ラグビーフットボール大会岡山県予選会では、1回戦で玉島高校と対戦し、0-33で敗れた。5月2(土)、3日(日)には美作ラグビー場で行われ

る強化練習会に参加し、技術・体力の向上に努めた。6月6日(土)、7日(日)には岡山県総合体育大会15人制の部が、13日(土)には同7人制の部が開催された。15人制の部はBブロックに参加し、1回戦は岡山城東高校に15-5で勝利するも、決勝戦で津山工業高校に5-46で敗れた。7人制の部は1回戦で岡山一宮高校に34-7で勝利したが、2回戦で倉敷工業高校に0-27で敗れ、ベスト8となり、Bブロック2位となった。3年生はこの大会を最後に引退した。

**中男子ソフトテニス部** 中学男子ソフトテニス部は3年7名、2年13名に新たに1年18名を迎え、総勢38名で新年度のスタートを切った。

6月6日(土)に行われた備西支部夏季合同練習会に、石原・福井、金川・板阪、北古賀・荒尾、吉田・金尾の4ペアが出場した。吉田・金尾組が初戦敗退、北古賀・荒尾組が2回戦敗退、石原・福井組がベスト16、金川・板阪組がベスト8に進出した。この結果により、地区総体の個人戦のシードを2本、団体戦の第4シードを獲得した。

**中女子ソフトテニス部** 10名の新入部員

を迎え、計22名で今年度の活動がスタートした。

6月6日に金光スポーツ公園テニスコートで行われた、備西・井原支部合同夏季研修大会に4ペアが出場し、塚岡・向ペアが優勝し、備南西地区大会（個人戦）の第1シードを獲得した。

**高男子ソフトテニス部** 4月18日（土）19日（日）、春季高等学校ソフトテニス選手権大会が水島緑地福田公園テニスコートでおこなわれた。3ペアが出場したが、それぞれ初戦を勝ち進んだものの3回戦までで敗退した。

5月4日（月祝）には全日本・中国高等学校ソフトテニス選手権大会の備西地区予選会（個人）が井原市営テニスコートでおこなわれた。黒川・竹内組が優勝、高橋・長田組がベスト8となり、この2ペアが県予選会への出場権を獲得した。なお、備西地区予選会（個人）の優勝は22年ぶりである。5月6日（火祝）には同じく井原市営テニスコートにて備西地区高等学校対抗ソフトテニス大会がおこなわれた。各校のAチームが出場する1部トーナメントでは2回戦で笠岡商業高校に1対2で敗れ、各校Bチームが出場

した2部トーナメントでは第3位という結果に終わった。

そして6月6日（土）7日（日）、全日本・中国高等学校ソフトテニス選手権大会の岡山県予選会（団体）が水島緑地福田公園テニスコートでおこなわれた。1回戦は岡山東商業高校に2対1で勝利したが、2回戦で玉島高校に1対2で敗れて二大会続いたベスト16には入れなかった。続いて13日（土）に備前テニスセンターでおこなわれた同大会の岡山県予選会（個人）には備西地区予選会を勝ち抜いた2ペアが出場したが、ともに1回戦で敗退した。

**中卓球部** 3月15日に岡山県団体総合選手権に出場した。男子団体は予選リーグで敗退した。

3月15日に笠岡市卓球選手権大会（団体の部）に参加した。男子団体では予選リーグを1勝2敗で敗退した。女子団体一般の部では予選リーグで岡山操山高Bと洞林寺クラブに勝ち、決勝トーナメント1回戦で玉野光南高に3-0で勝ち、準決勝で岡山操山高Aに3-2で勝ち、決勝で府中東高に2-3で敗れたが準優勝であった。女子団体中学の部では予選

リーグで3勝し、決勝トーナメント準々決勝で新田に勝ち、準決勝で倉敷ORクラブに敗れた。

4月5日にチェリーカップに参加した、男子団体では決勝トーナメント1回戦でばらの町卓球に0-2で敗れたがベスト16に入った。女子団体では決勝トーナメント1回戦で山陽女子Bに0-2で敗れたがベスト8であった。

4月19日に笠岡市卓球選手権大会個人部に参加した。男子シングルスでは升本(中3)がベスト32であった。女子シングルスでは藤(中3)がベスト32であった。

4月29日に福山市オープン大会に参加した。男子シングルスでは決勝トーナメントで升本が優勝、予選2位トーナメントで古賀(中3)が優勝、予選3位トーナメントで小野(中3)が2位であった。女子シングルスでは決勝トーナメントで森藤(中3)と徳毛(中3)がベスト16であった。

5月2、3日に近府県大会に参加した。男子団体では予選リーグで岡山後楽館に3-2で勝ち、新居浜東(愛媛)に1-3で敗れ、2位トーナメントで玉湯卓球クラブ(鳥根)に3-2勝ち、斐川西(鳥根)に2-3で敗れた。女子団体では予選リ

グで京山に3-0で勝ち、宍道(鳥根)に0-3で敗れ、2位トーナメントで操南に3-2、琴浦ジュニア(鳥取)に3-2、笠岡卓球クラブに3-1で勝ち、準決勝で倉敷ORクラブに1-3で敗れた。

6月6、7日に備西支部合同練習会に出場した。男子団体では6勝0敗で優勝、女子団体では5勝1敗で準優勝であった。男子個人では升本が優勝、古賀が準優勝、安東(中3)がベスト4、小野がベスト8、信岡(中3)がベスト16であった。女子個人では森藤が優勝、徳毛がベスト4、藤がベスト8であった。

**高卓球部** 3月15日に岡山県団体総合選手権大会に出場した。男子団体では予選リーグで teamsMASHI 2-3で敗れ、ユース・リゲインAに0-3で敗れ、玉野クラブに3-2で勝ち、TS平松に3-0で勝ち、3位トーナメント準々決勝で岡山東商に3-1で勝ち、準決勝でOKTに3-1で勝ち、決勝でトマト銀行に2-3で敗れた。女子団体では予選リーグで御南中に3-0で勝ち、きしら1-1に2-3で敗れ、ままかりクラブに3-1で勝ち、山陽女子中Aに0-3で敗れ、3位トーナメントで山陽クラブ

に1-3で敗れた。

4月5日にチェリーカップに参加した。男子団体では準々決勝で天城Aに3-0で勝ち、準決勝で鳥取敬愛Bに2-3で敗れたが3位に入賞した。女子団体では準々決勝で岡山操山Cに3-0で勝ち、準決勝で鳥取敬愛に0-3で敗れたが3位に入賞した。Bチームもベスト8であった。

4月19日に笠岡市卓球選手権大会個人部に参加した。男子シングルスで原田(高3)がベスト16、木下(高2)に入った。女子シングルスでは東(高1)がベスト16、児嶋(高3)と西岡(高2)と内山(高1)と西原(高1)がベスト32に入った。

4月25、26日に近府県大会に出場した。男子団体では予選リーグで倉敷化工に0-3、岡山理科大に3-1、育英高校Cに0-3の結果1勝2敗で予選敗退であった。女子団体では岡山商科大に0-3、日本体育大学に0-3、岡山操山に3-1の結果1勝2敗で予選敗退であった。

5月4、5日に全国・中国高校予選会に出場した。男子シングルスでは中嶋(高3)と福田(高2)がベスト32に入った。男子ダブルスでは中嶋・原田組と掛谷(高3)・

福田組がベスト8に入り、中国大会出場を決めた。女子シングルスでは西岡(高2)がベスト16に入り、中国大会出場を決めた。また、児嶋と難波もなみ(高2)と内山と東がベスト32に入り、敗者復活戦で東が中国大会出場を決めた。女子ダブルスでは児嶋・小見山(高3)組がベスト32に入った。続く5月30、31日にリーグ戦を行い、男子ダブルスで中嶋・原田組が第7位、掛谷・福田組が第8位、女子シングルスで西岡が第16位にランキングされた。

6月6、7日に岡山県高校総体に出場した。男子団体では1回戦で玉野商業に3-0、2回戦で玉野光南に3-0、3回戦で岡山操山に3-0、準々決勝で倉敷青陵に3-1で勝ち、決勝リーグで倉敷工業に0-3、関西に0-3で敗れたが、岡山理大附属に3-0で勝ち、第3位となり中国大会出場を果たした。女子団体では2回戦で津山に3-0、2回戦で岡山朝日に3-0で勝ち、準々決勝で岡山東商に1-3で敗れ、順位決定リーグで倉敷青陵に0-3で敗れたが、岡山商大附属に3-1で勝ち、玉野光南に3-0で勝ち、第6位となり中国大会出場を果たした。



**中野球部** 4月29日、5月3日、4日にどんぐり球場などで行われた第10回笠岡東ライオンズクラブ杯では、1回戦寄島・大島の合同チームに15―2で勝利した。2回戦は井原中学校に9―1で勝利したが、準決勝で優勝した金浦中学校に1―1で特別延長の末4―8で敗れた。3位決定戦では、7―0で高屋中学校を下した。

6月6日、7日にどんぐり球場などで行われたシード決め大会では、1回戦4―1で笠岡東中学校に勝利した。シード決定戦では、3―0で井原中学校を下してシードを獲得した。

**高野球部** 4月4日、より始まった春季岡山県高等学校野球大会西部地区予選において、初戦の玉野光南戦は2対6で敗れ、2戦目の倉敷工業戦も0対1で敗れた。3戦目の高梁戦には6対5で勝利したものの、1勝2敗で予選敗退となった。第97回全国高等学校野球選手権岡山大会は7月11日より開幕。

**中サッカー部** 1月25日に行われた西備地区ユース大会1位リーグの結果は次のとおりである。対総社東(0―1)、対矢掛(4―0)、対金浦(3―1)、金浦B(1―1)。結果は準優勝した。

練習試合を次のように行った。2月11日、対高梁(3―1)、対高梁B(0―6)、対玉島北(1―1)、対玉島北B(1―3)。3月15日、対如水館(4―0)、対県立広島B(1―1)、対県立広島B(1―2)、対県立広島(2―0)。倉敷招待の結果は次のとおりである。5月3日、対福浜(3―0)、対倉敷南(3―0)、対東陽(2―1)、対倉敷南B(3―0)。5月4日、対連島(3―1)、対野の池(5―1)、対島田FC(0―1)、対連島B(0―0)、対島田FC(0―2)。支部大会の結果は次のとおりである。6月6日、対鴨方(0―2)、対高屋(1―0)。6月7日、対矢掛(2―2)、対里庄(2―0)。結果は3位。

**高サッカー部** 練習試合を次のように行った。2月11日、対山陽(0―3・4―1)、対神辺旭(2―2・2―6)。3月15日、対社会人25分×8(7―8)。3月30日、対就実。3月31日、対おかやま山陽(4―1・1―1)。5月3日、対高知コロン(0―4・2―0)。対理大附(0―2)。5月4日、対青陵(0―1)、対操山(2―0)。第5回浅口カップ大会の結果は次のとおりである。3月21日、一次リーグ。対倉敷南A(0―0)、対東岡山工業(2―2)。3月22日、2位トーナメント。対備前緑陽(0―2)、対鷺羽(1―1)PK(5―4)。3月23日、交流戦。対下関商業A(2―1)、対玉野光南B・A(1―5)(0―7)(0―7)。県総体備中地区予選1回戦、4月19日、対笠岡(0―4)。

備中支部総体備西大会の結果は次のとおりである。5月9日、対玉島(0―2)、対山陽(0―4)。5月10日、対玉島商業(2―2)、対矢掛(3―0)。高円宮杯U-18サッカーリーグ2015OKAYAMAの途中結果は次のとおりである。4月26日、対玉島商業(1―1)。5月6日、対備前緑陽B(3―4)。5月24日、対青陵B(2―0)。

**中柔道部** 5月、1年の新入部員5名を迎え、中3虫明を主将とし新チームで練習を行っている。5月30日岡山武道館においてオージー技研主催の柔道フェスタが行われ参加した。鈴木圭治選手や秋本選手などオリピック選手による技の講習をうけた。また全員が直接乱取り稽古をしていただき

とても貴重な経験をすることができた。

6月6日に本校柔道場で、備西支部の合同練習会が行われ、4校リーグ戦を行った。男子は笠岡東、笠岡西には勝ったが、里庄に代表戦の末敗れ2位となった。女子は笠岡西に敗れた。

**高柔道部** 4月25・26日に行われた中国高校柔道大会岡山県予選に出場した。個人戦において1年石井が73kg級で2回戦負け、戸田が60kg級でベスト8となった。

6月6日7日に高校総体岡山県大会が行われ、団体では1回戦で水島工業高校に1―4で敗れた。個人戦では石井が73kg級で1回戦負け、戸田が60kg級で2回戦負けであった。

6月11日に本校柔道場において恒例の3年追い出し試合を行った。3年姫路が12人を勝ち抜いたが、2人残して後輩チームの勝ちとなった。

**中剣道部** 3月15日(日)、ワコー杯大会が笠岡小学校で開催され、市川真広、佐伯優真がベスト8、岡本紘太郎が2回戦敗退、池田弦輝、日名啓介が1回戦敗退であった。

6月7日(日)、佐伯(2年)、新谷理駆(1年)が初段に合格。

**高剣道部** 4月19日(日)、国体予選会が桃太郎アリーナで開催され、平川龍之介(1年)が2回戦敗退、松本椋平(1年)が1回戦敗退であった。

4月25日(土) 26日(日) 中国大会予選会が笠岡総合体育館で開催され、平川、松本、三木佳苗(3年)が1回戦敗退、中村奈々(3年)が2回戦敗退。男子団体試合は総社南高校に0対2で敗れた。5月9日(土) 備中支部大会が倉敷商業高校体育館で開催され、男子団体試合は1回戦シード、2回戦は水島工業高校に0対4で負け。敗者戦は天城高校に0対4で敗れた。

6月6日(土) 7日(日)、県高校総体剣道競技が、川崎学園総合体育館で開催され、平川、文箭和也(3年)、三木が1回戦敗退、中村が2回戦敗退であった。

**中男子バスケットボール部** 5月3・4日に、笠岡市民体育センターにおいて、県内外男子12チームで、『やつなみCUP』を行った。初日、6チームグループの3位で、2日目の順位トーナメントに入るも、2日目は接戦を勝ちることができず、勝ちあがることはできなかったが、

2日間で多くのチームと対戦し、良い経験を積むことができた。

6月に行われた支部大会では、里庄中学校と矢掛中学校に勝利するも、笠岡東中学校と鴨方中学校に接戦で敗れ、3位となり7月に行われる地区大会のシードを得ることはできなかった。

**高男子バスケットボール部** 4月11日、春季優勝大会備中地区予選会に参加した。1回戦、井原に75―48で勝ち、2回戦、笠岡商業に61―44で勝った。トーナメント準決勝で第1シードの水島工業と対戦し、89―48で負けた。

5月9日、夏季総体(インターハイ)予選備中地区予選会に参加した。1回戦、総社南に60―44で負け、悲願の県大会出場は果たせなかった。3年生にとってはこの大会が現役最後の大会となり、悔し涙があふれた大会となった。

6月6日に保護者会主催の卒部会兼保護者会総会が倉敷で行われた。高3生から保護者の方への手紙贈呈というサプライズもあり、盛会となった。

**高女子バスケットボール部** 4月11日、春季優勝大会備中地区予選会が行われ、1回戦、青陵に46―43で勝ち、2

回戦、新見に54―37で負けた。

5月9日、夏季総体(インターハイ)予選備中地区予選会が行われ、1回戦、高梁に53―46で負けた。県大会出場を目指し臨んだ試合だが、悔しい結果となった。

**中男子バレーボール部** 平成27年度前半の戦績

2月に岡山県で行われた中国新人大会で3年ぶりの優勝を狙ったが、第3位という結果となった。3月には神奈川県で行われた東西交流中学バレーボール選手権大会に中国四代表として推薦され、ベスト16。優秀選手にも1名選出された。夏の全国大会(北海道)を目指して、これ

からも皆さんのおかげをいただきます。日々精進してまいりたいと思います。

**中女子バレーボール部** 6月6・7日に行われた夏季支部大会では6名の中1新入部員を加えて臨んだ。結果は3戦全敗であったが、7月に行われる地区大会につなげる内容であった。

**高男子バレーボール部** 新入部員4人を加え、今年度は11人でスタートしました。4月に行われた春季県大会では準決勝で玉野光南にストレートで勝利し、決勝戦で岡山東商業に1―2で負け準優勝でし

## 学園だより

### 出校日・大祭奉仕

4月6日、在校生は出校し、新クラス発表の後、教室移動を行った。また、中2はこれに先立ち、本部祭場の清掃奉仕を行った。韓国への音楽部吹奏楽団及びイギリスへの海外研修参加者が2日と3日無事に帰金した。

### 入学式

4月8日、中学は午前中に、高校は午後からほつま体育館で行い、それぞれ184名、225名(留学生含む)の新入生が希望に胸を膨らませて入学した。

### 留学生

A F S留学生として、ブラジルからリリアン・ラセルダさんが来校した。高校1年に1年間滞在する。

### 始業式

4月9日、中高合同で1学期始業式がほつま体育館で行われ、新任教員紹介の後、校長式辞、在校生を代表して高3の木下豪くんから歓迎の言葉、また新入生を代表して中1の岡嶺晃くんから挨拶がそれぞれあった。

### ◇新入生代表挨拶(中1 岡 禎晃)

。備西大会では3年連続で優勝しました。そして、6月にはインターハイ予選があり、3回戦 岡山一宮、準々決勝 美作にストレートで勝利。準決勝 倉敷商業に2―1の逆転勝ち。決勝戦 岡山東商業に1―2で負け準優勝で終わりました。

### 中少林寺拳法部

6月7日(日)美作市作東B&G海洋センター体育館において第8回岡山県中学生少林寺拳法大会が開催された。結果は以下の通り。

男子単独演武の部 佐藤謙成(3年)

6位、森本大心(2年) 予選敗退、高田蒼(2年) 予選敗退

男子組演武の部 衛本廉温(3年) 遠部涼介(3年) 8位

女子単独演武の部 近藤瑞浦(2年) 8位、米村咲南(2年) 10位、石井杏佳(2年) 14位

女子組演武の部 紺藤舞子(3年) 池田芽生(3年) 7位

**高少林寺拳法部** 6月6日(土)岡山工業高校において第54回岡山県総合体育大会が開催された。結果は以下の通り。

男子単独演武の部 中野真聡(3年) 優勝、山中勘輔(3年) 3位、友田直陽

春風が心地良く感じられる今日、私達中学校184名、高等学校225名は、晴れて金光学園の生徒として、歩み始めました。新しい制服に身を包み、6年間この金光学園に通えることを大変うれしく思います。

しかし、何もかもが初めての学園生活に、希望と不安が心を包んでいます。何事にもまず、心を落ち着かせて取り組み、少しずつ慣れていきたいと思えます。また、私達だけでは難しい事など、たくさんあると思えます。校長先生をはじめ、諸先生方、そして先輩方の温かなアドバイスを頂きながら、一生懸命がんばりたいと思えます。どうぞよろしくお願いたします。

私達新入生一同は、「人をたいせつに自分をたいせつに 物をたいせつに」の合い言葉を中心に刻み、共に助け、励まし合い、有意義な学園生活を送ることをここに誓います。

### 新入生本部参拝

4月11日、中1と高1が金光教本部に参拝し、これからの学園生活の立ち行きをお願いした。その後、境内でクラス毎の記念写真を撮った。高1のクラス写真は出張者多数のため、後に延期された。

(1年) 5位、森藤啓介(3年) 6位、佐藤秀紀(1年) 10位、河村征(1年) 12位、山中信助(1年) 予選敗退

女子単独演武の部 有田胡桃(3年) 2位、中野、山中、友田、有田の4名は6月20日(土)・21日(日)に岡山県金光学園で開催される中国大会の出場権を得た。また、中野、有田の2名は7月30日から兵庫県姫路市で開催されるインターハイの出場権を得た。

### 木綿崎ボランティア部

4月より同好会から部へ昇格した。部員12名で活動。「浅口市たんぼぼまつり」、浅口社会福祉協議会主催の「赤い羽根街頭募金」、赤い羽根共同募金「むすび丸ピンバッジ募金」、「福島ひまわりプロジェクト」に参加。

**バドミントン同好会** 新入部員7名を迎え、毎週火曜日に楽しく活動しています。

**花道同好会** 毎週水曜日に宗教教室で兼信先生の指導の下稽古している。

**歴史同好会** 今年度より発足した。6月13日(土)、神辺で古墳の研究・環境整備を行っている佐藤武志先生の手伝いとして、古墳周辺の案内看板設置作業を行った。

### ◇お届け(高1大藤 瑞乃)

4月8日に中学校新入生184名、高等学校新入生224名と留学生1名、合計409名は多くの方々の祝福を受け、金光学園に無事入学させて頂くことができました。どうぞ神様にお礼を申し上げて下さい。

私たちは自らの意志で、勉学やスポーツに励むことを目的として金光学園に進学しました。それぞれの夢を実現させるために精進し、二日一日を大切に過して、充実した学園生活を送れるようにすることを誓います。

この先、大きな壁にぶつかかることもあるかもしれませんが、先生方、家族、友人など多くの人に支えて頂きながら、乗り越えていきたいと思っています。

また、4月24日には高1が一日旅行を、24・25日には中1が校内で入校時合宿を行います。全員が所期の目的を達成し、安全に過ごせるようよろしくお願い致します。

### ◇教主金光様のおこぼ

皆さん、おめでとございます。今日も明日もあさっても、皆、今月今日になります。どうぞ、お世話になるすべてに礼をいう心をもって、今を大切に、今申されました願いに沿って勉強を進めら



れ、おかげを頂かれますよう、祈ってやみません。

**なんでも相談室** 毎週水曜日は午前10時から午後4時まで教育相談室・相談室で開設され、教育相談委員がカウンセリング・助言・支援を行っている。

**街頭交通指導** 4月9日から16日まで教員が通学路に立ち、交通安全・交通マナーについての指導を行った。

**検尿** 4月14・15日に中学生・高校生を対象に検尿を実施した。

**交通安全教室** 例年、4月中旬に交通安全教室を実施し交通マナーや交通法規について学んでいたが、諸事情により今年は中止になった。

**総合健康診断** 中学は4月22日に、高校は23日に、身体測定と内科・歯科・視力・聴力（3年）の検診が行われた。

**一日旅行** 4月24日、高1は例年牛窓研修センター「カリヨンハウス」で行っていた学習合宿に代わり一日旅行を実施した。バスを借り切ってクラスごとに旅行先を決め、親睦を深めた。

**入校時合宿** 4月24・25日、中1が校内で行い、金光教玉水教会控所に宿泊した。学園歌コンクール、町内クリンオ

リエンテーリングや夜の集い（集団ゲーム・キャンドルサービス）などを通じ、親睦を深め、集団生活の規律を学んだ。

**沖縄修学旅行** 4月24・27日、中3は沖縄を訪れた。語り部による戦争体験の話、平和集会や折り鶴献納などを通じ、平和について考えると同時に沖縄の歴史や自然について学習した。

**やつなみ保護者会総会** 5月2日、1限に授業参観、2限に学級会、3・4限に総会と講演が行われた。講演は、漫才作家 NSC（吉本総合芸能学院）講師の本多正識先生の「おかげさまと」おたがいさま」であった。

**人権講演** 5月1日、高3は元県立岡山盲学校教頭の竹内昌彦先生から「私の歩んだ道と見えないから見えたもの」という演題で講演を聴き、笑いあり涙ありのお話の中から今後の人生への示唆を受けた。

**人権教育** 中1は5月1日に、あだ名・いじめ・携帯トラブルについてのアンケートをとり、その結果を通信にまとめ、5月22日にはそれをもとに、今何ができるかをクラスで話し合った。

**避難訓練** 5月7日、全生徒・教職員

を対象に、避難訓練を行った。

**探究講演会** 5月11日、中3・高1探究クラス・保護者を対象に、金沢工業大学虎ノ門大学院・早稲田大学ビジネススクール・グロービス経営大学院の三谷宏治先生から「決める力・伝える力の鍛え方」という演題で講演が開催された。

**教育相談保護者会** 5月16日、8名の保護者が参加し、安原こずえ先生を講師に「親離れ・子離れ（思春期の心理）」という演題で話をうかがい、交流が行われた。

**教育実習** 5月18～6月6日までの期間、卒業生11名が2週間ないし3週間の実習を行った。

**高校熱中症対策研修会** 5月19日、1学期中間考査終了後、小体育館にて講師、山口啓幸氏（大塚製薬）から熱中症対策の講演を聴いた。

**教育キャンプ** 5月20・22日、中2は第48回大佐山教育キャンプを行った。3日目まで天気にも大変恵まれ、キャンプファイヤー、大山登山、体験学習を行った。初夏の大自然を満喫した。

**性教育** 中3は5月1日と12日に、男女交際や性感染症・避妊について学習し

た。また、中2の生徒と保護者は6月2

日に、ウイメンズクリニックの上村茂仁先生から「大好き」って相手のしあわせを考えること」という演題で講演を聴いた。その後、16日にビデオを観て性感染症・避妊について学習した。

**教科担当者会議** 中学校において、日頃の授業の様子や中間テストの結果についての情報が交換され、個々のすぐれた点や改めたい点が指摘検討された。高校（1・2年）では、学力向上の目的で、スタディサポート分析会を行った。

**塾対象学校説明会** 6月5日、塾の先生を対象に学校説明会を行い、金光学園の学習や行事、部活動などについての現状を詳しく説明した。また、午前中には全学年・全クラスの授業を公開した。

**喫煙防止指導** 6月9日、中2は喫煙防止の指導を行った。タバコのリスクについて話を聞いた後、ビデオを観て感想を書いた。

**中3進路学習** 6月9日に進路課長の藤井幹久教諭から進路についての話を聞いた。

**音楽奉仕** 6月14日、教団独立記念式において音楽部吹奏楽団が演奏奉仕を

行った。

**高2修学旅行** 6月15～19日にシンガポール・マレーシア・韓国コースは現地学生との交流やホームステイを体験し、14～19日にオーストラリアコースは南半球のクイーンズランド州のアサートンでファームステイなどを体験し、15～19日に北海道コースは北の大地の自然や文化・歴史にふれた。（紀行文は次号に掲載）

**探究Ⅱ中間発表** 高2「探究Ⅱ」の各ゼミと科学系部活動で行っている研究に対して、6月5日（理系）、7月9日（文系）の中間発表を午後から行った。それぞれ大学の先生にお越しいただき、今後の進め方について指導・助言をいただいた。

**高3読書会** 6月17日、希望の本別に14のグループに分かれて、お互いの意見を交換した。

**学校説明会** 6月20日、金光学園の受験希望者と保護者を対象とした学校説明会を行い、午前中に高2（修学旅行後の家庭学習日）を除く、全学年の授業を公開した。

**大学説明会** 6月26日、岡山大学・広島大学から教職員の方に来て頂き、高1を対象に大学の概要・学部学科や入試制

度の説明をして頂き、相談にも乗って頂いた。

**進路委員会** 6月30日、7月1日、高3学年団は学力の現状分析と今後の指導方針を検討した。

**英語検定試験実施** 7月5日（日）第一回の英語検定2次試験が本校の中学棟にて実施された。

**高3 1学期終業式** 7月18日、3年生は120記念館大講義室で1学期終業式を行った。

**お慶び** 中村歩美先生には、3月3日ご結婚、道廣映子先生には、5月17日にご結婚、お慶び申し上げます。土谷香奈子先生には、3月13日に長男がご誕生、松田恵梨香先生には4月23日に長女がご誕生、平賀康先生には6月4日に長男がご誕生、お慶び申し上げます。

**お悔やみ** 河田弘敏先生の御尊父には4月10日に、中1川本拓哉くん、高2川本大貴くんの御母堂には4月13日に、岡辺雅男先生の御岳父には6月6日に、神田繁雄常務理事の御丈母には7月7日にご逝去、謹んでお悔やみ申し上げます。



## 教室の窓から

毎週1回、英語が苦手な生徒のための放課後補習を行っている。既習の英単語をいくつかにしぼり、それらが正確に綴れるようになるまで何度も繰り返し書き、確認テストで全問正解できたら合格となる。英語が苦手であれば、数字や曜日を正しく覚えるのも一苦労だ。その日のうちに合格できず、課題を持ち帰り、翌日の昼休みに再テストに挑戦する生徒も数人いる。補習開始当初は、苦虫を噛み潰したような顔の生徒も見受けられた。

変化が見られたのは2回目の補習直後だった。補習の場で合格できず翌日の再テストで合格した生徒が、そのまた翌日の昼休みに職員室にやって来た。「昨日はなんとか合格できましたが、昨夜すっかり覚え直したので、もう一度テストを受けていいですか。」と、自信たっぷりの表情で言った。テスト用紙を渡し、答えを書く様子を隣で見守った。堂々としたアルファベットが正確に綴られていった。満点だった。「すごいー」と、思わず声を大きくした。「完璧に書けたね。自分はやればできるんだっ

てことが分かったね！」と言うと、「昨日200回くらい書いて覚えました！」と声を弾ませた。その週末に行われた英単語テストでは、20人中8割前後正解する生徒が補習参加者の中に何人もいた。

3回目の補習では、その場で合格する生徒の数がかなり増えた。英単語の発音と綴りの関係に慣れてきて、覚え方のコツも見えてきたようだ。初めてその場で合格した生徒が「最初は本当に嫌だったけど、こうやって単語が覚えられるようになって、得した感じ！」と、満面の笑顔で友達に語った。人は、できなかったことができるようになる」と本当に嬉しい。

「もうこれ以上頑張れない！」と、体力や気力の限界がきて、それ以上は何もできない、何もしたくない時がある。しかし、私たちが感じている「限界」は、実は限界ではないことがほとんどだ。苦しくなってきたからの少しの努力が、結果を良い方へと導いてくれる。「東大生だけが知っている、やる気スイッチ」の魔法」という本に、「あと5分だけやってみる」というアイデアが載っている。「もうダメだ」と感じたらタイマーを5分セットし、あと5分だけ必死に頑張る。あきらめたらそこで終わりで。「限界」からの挑戦を積み重ねた。

## 編集後記

創立12年目の新たな年度がスタートし、5月1日、高校3年生は、今年も元県立岡山盲学校教頭・竹内昌彦先生を講師に人権講演会を開催しました。演題は『私の歩んだ道』見えなから見えたもの』。

ご存知の方も多いと思いますが、先生の貴重な半生を描いた、愛と命の物語が映画として完成し、3月18日、岡山市民会館を皮切りに県内各地で報告上映中。まさに、先生の講演をリアルに再現していて、これまで何度聴いていても、心に響く素晴らしい映画でした。

先生の講演を聴いた生徒の感想を読むと、命の大切さ、思いやる心、逆境を撥ね返す力など人権教育だけでなく、多くのことを学んだことが行間からも伺える。

まだ、見られていない方は、是非8月(10日)15日(14日を除く)の山陽新聞さん太ホールでの上演を見られては如何でしょうか。

平成27年7月10日印刷  
7月17日発行

編集者

金光学園やつなみ保護者会  
やつなみ編集部

印刷所

倉敷市船穂町船穂二〇九五一―一  
玉 島 活 版 所

発行所

浅口市金光町古見新田一三五〇  
金光学園内  
金光学園やつなみ保護者会



中3

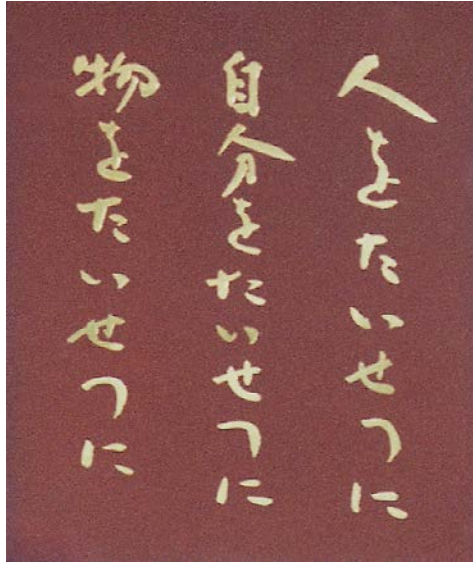
沖繩  
修学旅行



中2

太佐山  
教育センター





◎ほつま = 秀真

非常に優れ整い備わっていることの意。

「日本という国」の古異名の一つ。

創立後、生徒会や冊子の名に使用。

ほつま体育館、ほつま祭などで使われる。

.....  
◎やつなみ = 八波

どこまでもひろがり栄えゆく願いをこめる。

金光教・学園・中学・高校の徽章のふちどり。

P T A機関誌創刊当時、会員から公募してつけた。

人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに

<http://www.konkougakuen.net>

E-mail [info@konkougakuen.net](mailto:info@konkougakuen.net)